泊発電所3	号炉審査資料
資料番号	SA58H r. 4. 0
提出年月日	令和4年8月31日

泊発電所3号炉

設置許可基準規則等への適合状況について (重大事故等対処設備) 補足説明資料

58条

令和4年8月 北海道電力株式会社

目次

- 58条
- 58-1 SA 設備基準適合性一覧表
- 58-2 配置図
- 58-3 試験·検査説明資料
- 58-4 系統図
- 58-5 計測範囲説明書
- 58-6 審査会合会議資料
- 58-7 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について
- 58-8 可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数整理
- 58-9 単線結線図
- 58-10 主要パラメータの抽出について
- 58-11 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数の考え 方について
- 58-12 重大事故等対処設備により計測する重要な監視パラメータ
- 58-13 「実用発電用原子炉及びその附属設備の位置、構造及び設備の基準に関する規則」の第58条に基づく主要な重大事等対処設備一覧表

第58条	90	一装記	交備	1 次冷却材温度 (広域-高温侧)	類型化 区分	エビデンス	
Τ		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	原子炉格納容器	Α	[補足説明資料]58-2 配置図	
	200	件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	(=)	
	1	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-	
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	(17)	
	L		他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3		
	第2号	ı	操作性	対象外 (操作不要)	Z		
óster	号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЬ	[補足説明資料]58~4 系統図	
第 4	第 5 号	悪影響防止	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58~4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	_	
			その他(飛散物)	対象外	/	_	
	第6号		設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計3 装置の計測範囲及び警報動作範囲	
	第 2 号		共用の禁止	(共用しない)	-	-	
第 2 項	1	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【R/V温度】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラは、重要な監視パラメーラと位置的分散 (代替対象は「第6.4.4表」による)) 総和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図	
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-	

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	: #H	接出	交備	1 次冷却材温度 (広域-低温侧)	類型化 区分	エビデンス	
Τ		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 / 放射線	原子炉格納容器	Λ	[補足説明資料]58-2 配置図	
	200	件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	(=)	
	1	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	8	
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	(17)	
	L	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3		
	第2号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	in .	
	号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЬ	[補足説明資料]58-4 系統図	
第 4	第 5 号	悪影響防止	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	_	
			その他(飛散物)	対象外	/	_	
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計3 装置の計測範囲及び警報動作範囲	
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-	
第 2 項	1	共通要因故障防止	骤境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【R/V温度】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラは、重要な監視パラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 総和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図	
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-	

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	- 10 E	十装言	殳 備	1 次冷却材圧力 (広城)	類型化区分	エビデンス
		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 / 放射線	原子炉格納容器	Λ	[補足説明資料]58-2 配置図
	007	作に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	8
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	12	(5)
	L		他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	8	
	第2号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	::5
Anton	号	(#	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Вь	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項		共通要因故障防止	鐵燒条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【R/V圧力】【C/Vバイバス監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラヒス、重要な監視パラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 総和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	АаВ	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	: #	接针	设備	加圧器水位	類型化 区分	エビデンス
		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	原子炉格納容器	Α	[補足説明資料]58-2 配置図
	tete	米件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	(H)
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	18
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	(5)
	L	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	
	第2号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	
	号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Вь	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【R/V水位】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動派 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	9 1	+装:	殳備	原子炉容器水位	類型化 区分	エビデンス
Т			環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候	原子炉格納容器	Λ	[補足説明資料]58-2 配置図
		条件	/放射線 荷重	(全) 14 一种 44 之,15 4甲 4 工 /)		
	1	における	海水	(有効に機能を発揮する) 対象外(海水を通水しない)	7	8
		る健	電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
		全性		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	-
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	/	8
Anton	号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Вь	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第 6 号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	環境条件、自然現象、外部人為事 象、溢水、火災	【R/V水位】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラは、重要な監視パラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動脈 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	19/12	一装記	交備	高圧注入流量	類型化 区分	エビデンス
Τ		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	C/V以外の屋内-IS LOCA時に使用 (原子炉補助建屋)	B a B d	[補足説明資料]58-2 配置図
	opr	作に	荷重	(有効に機能を発揮する)		-
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)		(5%)
	L	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	第2号	ı	操作性	対象外 (操作不要)	7	
Anton	号	(1	験・検査 食査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	ı	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Вь	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号		設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号		共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	l	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【R/Vへの注水量】【C/Vへの注水量】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラヒーウは、重要な監視パラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 総和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58多	条	計装	設備	低圧注入流量	類型化 区分	エビデンス
		環境条	圧力/屋外の天候	C/V以外の屋内-IS LOCA時に使用 (原子炉補助建屋)	B a B d	[補足説明資料]58-2 配置図
	25	19	恭重	(有効に機能を発揮する)	-	
	1	まける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		佣全		(機能が損なわれない)		(5)
	L	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	181
	第 2 号	2	操作性	対象外 (操作不要)	Z	::5
	3 号	3 I (太験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЬ	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	F j	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外		_
	第 6 号	; I	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	1	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	2	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項		共通要因お阿防山		【R/V〜の注水量】【C/V〜の注水量】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視がラチウは、重要な監視がラチウと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	2 10	十装書	殳 備	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	類型化区分	エビデンス
Τ			環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
		条件	/ 放射線 荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
	第1号	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	125
		性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	
	号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項		ı	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	С	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項		共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【R/V〜の注水量】【C/V〜の注水量】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラは、重要な監視パラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	А а В	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	90	+装:	交備	B - 格納容器スプレイ冷却器出口積菓流量(AM用)	類型化 区分	エビデンス
T	Τ	環接	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候	C/V以外の屋内-その他	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
		条件	/放射線	(原子炉補助建屋)		LIBACIOCOTACTO E MURELOS
	第	15	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	
	号	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	in.	(5)
	L	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	-
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	Z	
	号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項		ı	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	[補足説明資料]58~4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第 6 号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	С	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計2 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項		共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【R/V〜の注水量】【C/V〜の注水量】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視バラメーラは、重要な監視バラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	· #	十装書	交備	格納容器內温度	類型化 区分	エビデンス
Τ			環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 / 放射線	原子炉格納容器	Λ	[補足説明資料]58-2 配置図
		条件	/ 放射線 荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	175
		土性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	
	号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Вь	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	1	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【C/V温度】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラヒ、重要な監視パラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 総和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる撃動原 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	: #1	十装記	交備	原子炉格納容器圧力	類型化区分	エビデンス
T		環境	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候	C/V以外の屋内-その他	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
		条件	/放射線	(原子炉建屋)		17:10 May 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	第 1	にお	荷重	(有効に機能を発揮する)		-
	号	ける	海水	対象外(海水を通水しない)	1	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	æ	10%
		性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	-
	第 2 号	ı	操作性	対象外 (操作不要)	7	æ
	号	(表	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЬ	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号		設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号		共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	骤境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【C/VE力】【最終にトシンン確保】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラは、重要な監視パラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 総和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	100	十装計	殳 備	格納容器圧力 (AM用)	類型化	エビデンス
		環	環境温度・湿度・	C/V以外の屋内-その他	区分	
		条	圧力/屋外の天候 /放射線	(原子炉建屋)	Bd	[補足説明資料]58-2 配置図
	第	件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	
	号	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	18
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	in.	(5)
		性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	-
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	æ
Anton	号	(1	験・検査 食査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	С	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	号	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【C/VE力】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視バラメーラは、重要な監視バラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	АаВ	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	条	計装	設備	格納容器再循環サンプ水位(広域)	類型化 区分	エビデンス
T		班均利	〒 圧力/屋外の天候	原子炉格納容器	Λ	[補足説明資料]58-2 配置図
	年	F 6		(有効に機能を発揮する)	-	Œ
	1	まける	at 海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		仮当		(機能が損なわれない)	in.	(5)
	L	15	性他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	18
	第 2 号	2	操作性	対象外 (操作不要)	Z	
	3号	3 📗	試験・検査 (検査性、系統構 :・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 3	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЬ	[補足説明資料]58~4 系統図
第 4	第 5 号	· 是是 40 以	\$ 	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外		_
	第 6 号	; I	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号		常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	:	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	2 頁	号 第3号		【C/V水位】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラは、重要な監視パラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	90	一装記	交備	格納容器再循環サンプ水位(狭城)	類型化 区分	エビデンス
Τ		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	原子炉格納容器	Α	[補足説明資料]58-2 配置図
	200	件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	(m)
	1	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	8
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	(17)
	L		他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	
	第2号	ı	操作性	対象外 (操作不要)	Z	
Anton	号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58~4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号		設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計3 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号		共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【C/V水位】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラテラは、重要な監視パラテラと位置的分散 (代替対象は「第6.4.4表」による)) 総和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	А а В	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十装	設備	格納容器水位	類型化区分	エビデンス
			圧力/屋外の天候	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
	-	条件	## eFr	(有効に機能を発揮する)		
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健	600 mile hate	(機能が損なわれない)	-	
		全性		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	-
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	
	号	()	大験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	[補足説明資料]58~4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	1	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	С	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	37	共通要因故障防止	W. III.A. A.A.	【C/V水位】 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	В	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	£ #	十装部	投 備	原子炉下部キャビティ水位	類型化区分	エビデンス
T	T	環接	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候	原子炉格納容器	Λ	[補足説明資料]58-2 配置図
		条件	/放射線	Elicity		LIBACIOCOTACTO E MUNICIPA
	第	15	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	
	号	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	in.	(5)
		性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	-
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	150
	号	(4	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第1項		1	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	[補足説明資料]58~4 系統図
第 4	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	1	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	С	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第2項	号	共通	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【C/V水位】 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散 (同一目的のSA設備は「第6. 4. 4表」による))	В	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	1 10	十装部	受備	格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	類型化 区分	エビデンス
Τ		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 / 放射線	原子炉格納容器	Α	[補足説明資料]58-2 配置図
	館	件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	(m)
	1	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	(37)
	L	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	第2号	1	操作性	対象外 (操作不要)	Z	in .
	号	(4	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外		_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	1	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計割 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	37	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部 / 為事 象、溢水、火災	【C/V 放射線量率】 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	В	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	19/12	十装部	受備	格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	類型化 区分	エビデンス
Τ		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 / 放射線	原子炉格納容器	Α	[補足説明資料]58-2 配置図
	200	件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	(m)
	1	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	1075
		性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	第2号	1	操作性	対象外 (操作不要)	Z	in .
Anton	号	(4	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外		_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	1	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Λ	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計8 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【C/V 放射線量率】 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	В	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	: #	接针	9備	出力領域中性子東	類型化 区分	エビデンス
Τ		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	原子炉格納容器	Α	[補足説明資料]58-2 配置図
	tete	米件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	(H)
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	18
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	(5)
	L	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	
	第2号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	
	号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制鉀設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Вь	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	環境条件、自然現象、外部人為事 象、溢水、火災	【未臨界の維持又は監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	: in	接	殳備	中間領域中性子東	類型化 区分	エビデンス
		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	原子炉格納容器	Λ	[補足説明資料]58-2 配置図
	000	作に	荷重	(有効に機能を発揮する)		-
	1	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)		1572
		性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	8	
	第2号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	
Anton	号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Вь	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【未臨界の維持又は監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラは、重要な監視パラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動顔 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	i i	十装言	9.6	中性子源領域中性子束	類型化区分	エビデンス
		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	原子炉格納容器	Λ	[補足説明資料]58-2 配置図
	000	作に	荷重	(有効に機能を発揮する)		-
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	12	(5)
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	8	
	第2号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	::5
Anter	号	(#	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Вь	[補足説明資料]58~4 系統図
第 4	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第2項	1	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【未臨界の維持又は監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	i i	十装言	殳備	蒸気発生器水位 (狭城)	類型化区分	エビデンス
T		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 / 放射線	原子炉格納容器	Λ	[補足説明資料]58-2 配置図
	000	作に	荷重	(有効に機能を発揮する)		-
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)		(67)
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	
	第2号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	
Anton	3 号	(#	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Вь	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	環境条件、自然現象、外部人為事 象、溢水、火災	【最終にトシシ介確保】【C/V ^ 4 / 7 x監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラは、重要な監視パラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動脈 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	2 1	接	9.6	蒸気発生器水位 (広城)	類型化 区分	エビデンス
		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	原子炉格納容器	Λ	[補足説明資料]58-2 配置図
	007	作に	荷重	(有効に機能を発揮する)		-
	1	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)		1970
	L	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	第2号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	
Anton	3 号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Вь	[補足説明資料]58~4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外		_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	307	共通要因故障防止	骤境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【最終にトランク確保】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動派 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	90	+装:	设備	原子炉補機冷却水サージタンク水位	類型化区分	エビデンス
Τ			環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 / 放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉建屋)	Вd	[補足説明資料]58-2 配置図
		条件	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	17
		生性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	.5.
óster	号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЬ	[補足説明資料]58~4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第 6 号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計8 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	療掩条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【最終にトランク確保】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラヒは、重要な監視パラメーラヒを位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 総和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動派 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	- 1	十装部	交備	補助給水流量	類型化区分	エビデンス
		境	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候	C/V以外の屋内-その他 (原子炉速燈)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
	eva	条件	/放射線 荷重	(有効に機能を発揮する)	_	-
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	8
		る健人	電磁波	(機能が損なわれない)	-	
		全性		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	-
	第2号	ı	操作性	対象外 (操作不要)	/	
	号	(表	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制鉀設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	ı	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	[補足説明資料]58~4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	ı	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号		共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	ı	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【最終にトシンク確保】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動派 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	90	十装部	交備	主蒸気ライン圧力	類型化区分	エビデンス
T		環境	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候	C/V以外の屋内-その他	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
		条件	/放射線	(原子炉建屋)		17:10 March 100
	第	にお	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
	号	ける	海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	ı	
		性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	-
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	Z	
fator	号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Вь	[補足説明資料]58~4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第2項	1	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【最終t-トシンク確保】【C/Vバイバス監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動原 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	90	十装言	交備	燃料取替用水ピット水位	類型化 区分	エビデンス
Τ			環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候	C/V以外の屋内-その他 (原子炉建屋)	Вd	[補足説明資料]58-2 配置図
	ewa	条件	/放射線 荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	8
		る健	電磁波	(機能が損なわれない)	-	15
		全性		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	-
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	/	
date	号	(#	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Вь	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58~4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計8 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	ı	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	骤境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【水源確保】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラは、重要な監視パラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	АаВ	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる撃動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	- 1	十装記	殳備	ほう酸タンク水位	類型化区分	エビデンス
			環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助速屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
	-	条件	/放射線 荷重	(有効に機能を発揮する)	_	-
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	8
		る健人	電磁波	(機能が損なわれない)	-	
		全性		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	-
	第 2 号	ı	操作性	対象外 (操作不要)	7	
	号	(表	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	ı	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外		-
	第6号	ı	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号		共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【水源確保】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーラは、重要な監視パラメーラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動原 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	£ #	计装	設備	補助給水ビット水位	類型化 区分	エビデンス
T		環境条件	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉建屋)	Вd	[補足説明資料]58-2 配置図
	第	14	恭重	(有効に機能を発揮する)	-	(E)
	1 号	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電盤改	(機能が損なわれない)	in	(5)
	L	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	-
	第 2 号		操作性	対象外 (操作不要)	Z	::5
	3 号	(式験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЬ	[補足説明資料]58-4 系統図
第 4	第 5 号	悪影響防止	ī	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	[補足説明資料]58-4 系統図
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外		_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	1	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計計 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止		【水源確保】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	АаВ	[補足説明資料]58-2 配置図
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	19/11	十装言	设備	使用済燃料ビット水位(AM用)	類型化	エビデンス
Т	10	環	環境温度・湿度・	extracted assets (in order in supply actively interest.)	区分	
		条	圧力/屋外の天候 /放射線	C/V以外の屋内-SFP事故時に使用 (燃料取扱棟)	Вь	[補足説明資料]58-2 配置図
	第	件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	· ·
	号	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	
		性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	-
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	Z	
	3 号	(#	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性の確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	【SFPの監視】 DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【SFPの監視】 他設備から独立 (他の設備から独立)	Ас	-
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第 6 号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	【SFPの監視】 SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (重大事故等により変動する可能性のある範囲にわたり測定できる設計)	С	[補足説明資料]58-7 主要パラメータの代わパラメータによる推定方法について
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項		共通]	環境条件、自然現 象、外部/為事 象、溢水、火災	【SFPの監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備/同一目的のSA設備なし	/	-
			サポート系要因	対象 (サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持つ代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

558条	10	十装部	を備	使用済燃料ビット温度(AM用)	類型化区分	エビデンス
T		境	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 / 放射線	C/V以外の屋内~SFP事故時に使用 (燃料取扱棟)	Вь	[補足説明資料]58-2 配置図
	200	条件	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
	第1号	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	-
	第2号	ı	操作性	対象外 (操作不要)	7	-
	3 号	(核	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性の確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験·検査説明資料
第 1 項	l	ı	切り替え性	【SFPの監視】 DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-
367	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【SFPの監視】 他設備から独立 (他の設備から独立)	Ас	-
} E		П	配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
		П	その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	ı	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	【SFPの監視】 SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (重大事故等により変動する可能性のある範囲にわたり測定できる設計)	С	[補足説明資料]58-7 主要パラメータの代 パラメータによる推定方法について
	第 2 号		共用の禁止	(共用しない)	-	-
第2項		共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【SFPの監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし 級和設備/同一目的のSA設備なし	/	-
			サポート系要因	対象 (サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持つ代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58 条	. 9	l-Hair	· 備	使用済燃料ビット監視カメラ	類型化	エビデンス
	-		WW.	DESTRUMENTS C 2 T INDUSTRY 2	区分	
		条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	C/V以外の屋内-SFP事故時に使用 (燃料取扱練)	Вь	[補足説明資料]58-2 配置図
	第	件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	
	1 号	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	(8)
	L	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	第 2 号	ı	操作性	【SFPの監視】 現場推作 (運搬設置:空冷装置は、人力により運搬、移動できる設計) (操作スイッチ操作:空冷装置は、現場で操作できる) (接続作業:空冷装置は、確実に接続できる)	A© A⑦ A⑩	[技術的能力]添付資料1.11.17
	3 号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性の確認)が可能) (校正が可能) (空冷装置は、機能・性能の確認が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験·検査説明資料
第1項		ı	切り替え性	【SFPの監視】 DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【SFPの監視】 他設備から独立 (他の設備から独立)	Ас	-
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号		設置場所	対象外 (操作不要) 現場操作 (使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置と使用済燃料ピット監視カメラの接続及び空冷装置の操作は設置場所 で可能)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	【SFPの監視】 SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (重大事故等時に赤外線の機能によりSFPの水温の傾向等状態を監視できる設計)	С	[補足説明資料]58-7 主要パラメータの代 パラメータによる推定方法について
	第 2 号		共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項		共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【SFPの監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備/同一目的のSA設備なし	/	-
			サポート系要因	対象 (サポート系あり) 異なる駆動派 (DB設備としての電源に対して多様性を持つ代替電源から給電)	С	[技術的能力]添付資料1.11.17

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	t i	十装部	没 <mark>備</mark>	データ収集計算機	類型化 区分	エビデンス
		環境条件		C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
	第	件	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	
	1 号	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	in.	(2)
	L	性		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	第2号		操作性	対象外 (操作不要)	7	
Anton	第 3 号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	通信設備 (機能・性能の確認が可能) (外観の確認が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第1項		1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	-
4 4	第 5 号	悪影響防止		【パラメータの記録】 DBと同系統構成 (設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成)	Αd	-
3 ≹			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	1	常設SAの容量	対象外 (発電所内外の通信連絡をする必要のある場所と必要なデータ量を伝送できる容量)	/	-
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項		共通要因故障防止	W. M.A. A.A.	【パラメータの記録】 綾和設備/同一目的のSA設備なし	/	-
			サポート系要因	対象外(サポート系なし)	/	-

第58条	. 4	Late	O-100	データ表示端末	類型化	エビデンス
3300 A	к п	1 area		ソーク 仮小畑木	区分	20122
		環境条	圧力/屋外の天候	C/V以外の屋内-その他 (緊急時対策所)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
	第		荷重	(有効に機能を発揮する)		(F)
	1 号	ける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	FEL (022, (7)2	(機能が損なわれない)	in .	(5)
		性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	-
	第2号	1	操作性	現場操作 (操作スイッチ操作: 付属のスィッチにより操作可能) (接続作業:通信ケーブルを確実に接続できる)	Λ⑦ Λ®	.0
- Andrews		(4	、験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	通信設備 (機能・性能の確認が可能) (外観の確認が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項		1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЬ	-
第 4	第 5 号	悪影響防止		【パラメータの記録】 DBと同系統構成 (設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成)	A d	-
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	1	設置場所	現場操作 (操作は設置場所で可能)	Λа	[補足説明資料]58-2 配置図
	第 1 号	1	常設SAの容量	対象外 (発電所内外の通信連絡をする必要のある場所と必要なデータ量を伝送できる容量)	/	-
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項		共通要因故障防止	w. m.n. Ag	【パラメータの記録】 緩和設備/同一目的のSA設備なし	/	-
			サポート系要因	対象外(サポート系なし)	/	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	19th	談十	设備	A-直流コントロールセンタ母線電圧	類型化 区分	エビデンス
T			環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
		条件	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	=
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	17.
		性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	第2号	1	操作性	対象外 (操作不要)	Z	
Anton	3 号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	-
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	-
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	-
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	療境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-	-
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	2 %	十装部	投備	B-直流コントロールセンタ母線電圧	類型化区分	エビデンス
Τ		環境。	圧力/屋外の天候	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助康屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
	-	条件	/放射線 荷重	(有効に機能を発揮する)	_	
	第1号	おけ	18/2000	対象外(海水を通水しない)	7	-
		る健人	電磁波	(機能が損なわれない)	-	(*)
		全性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	=	-
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	.ss
第	1	(1	、験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	-
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	-
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	1	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	-
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	S. CILLAN, M.	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)		-
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

558条	î	装部	之 備	6-A母線電圧	類型化 区分	エビデンス
		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
Ш	200	件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	(F)
	1	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
Ш		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	15
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	第2号		操作性	対象外 (操作不要)	7	
	3	(市	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	第 4 号		切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЬ	-
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	-
} E			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号		設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号		常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	Α	-
	第 2 号		共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	第3号	共通要因故障防止	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	対象外 (共通要因の考慮対象設備なし)	-	-
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	90	十装部	受備	6-B母線電圧	類型化 区分	エビデンス
			環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 / 放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
		条件	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	-
	3 号	(4	、験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	-
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	-
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第 6 号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	-
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	2 号	共通要因故障防止	is Call N. M.	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-	-
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動派 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	*	計装	設備	A-原子炉補機治却水供給母管流量	類型化	エビデンス
1		環	環境温度・湿度・	6011162AU, CAMBORDO TRANSASTANO TRABASANO.	区分	
		境条	圧力/屋外の天候 /放射線	C/V以外の屋内 その他 (原子炉建屋)	Bd	[補足説明資料]58-2 配置図
	Ŧ		何里	(有効に機能を発揮する)	-	(#
	月	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	17	100
		性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	-
	第 2 号		操作性	対象外 (操作不要)	Z	25
and a		. (大験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項		1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	-
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	-
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	:	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	.	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	С	-
	第 2 号		共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項		共通要医共	w. m.v.	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-	-
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	1 10	談十	2備	B-原子炉補機冷却水供給母管流量	類型化 区分	エビデンス
T		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	C/V以外の屋内~その他 (原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
	M	伴	荷重	(有効に機能を発揮する)	_	
	1	における	海水	対象外(海水を通水しない)	7	i e
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	175
	L	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	-
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	
Anton	3 号	(1	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	-
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	-
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	ı	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	С	-
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項		共通要因故障防止	骤境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-	-
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

第58条	2 10	十装部	投備	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	類型化区分	エビデンス
			圧力/屋外の天候	C/V以外の屋内-その他 (原子伊建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
		条件	/放射線 荷重	(有効に機能を発揮する)	_	
	1	における		海水通水 (常時海水を通水)	I	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
		生性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	7	-
Anton	3 号	(4	、験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	-
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	-
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	1	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	С	-
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項		共通要因故障防止	35、 III.小、八火	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-	-
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

\$58 4	条 計装設備 A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 !					エビデンス
			2000 SE	it habered a set a method to section in	区分	
		環境条	圧力/屋外の天候 /放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
	第	件	恭重	(有効に機能を発揮する)	-	-
	号	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	1071
	L		他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	第2号		操作性	対象外 (操作不要)	Z	
onto a		1 (大験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
第 1 項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЪ	-
第 4	第 5 号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	-
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	1	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	С	-
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項	1	共通要因故障防止	w. m.v.	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-	-
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58条	- 10 m	+装	設備	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	類型化区分	エビデンス
		環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 / 放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	Вd	[補足説明資料]58-2 配置図
	第	14	恭重	(有効に機能を発揮する)	-	(A)
	1号	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		健全	FE. (02.02	(機能が損なわれない)	in.	(57)
	L	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	-
	第 2 号	1	操作性	対象外 (操作不要)	Z	-
	3 号		大験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験·検査説明資料
第1項	1	1	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	ВЬ	-
第 4	第 5 号	悪影響防止	il l	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	Ас	-
3 条			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	_
	第6号	1	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-
	第 1 号	1	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	С	-
	第 2 号	1	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第 2 項		共通要因故障防止	w. m.v.	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	1	-
			サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	С	

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第5	8条	**	接記	计 偏	可兼型計測器	類型化区分	エビデンス
			境	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
П	$ \ $	第	件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
		1 号	る	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
П	$ \ $		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	(27)
			性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	-
		第2号		操作性	現場操作 (運搬設置:人が携行して移動可能) (操作スイッチ操作:付属の操作スイッチにより操作可能) (接続作業:計装ケーブルの接続は、ジャック接続とし、接続規格を統一することで、確実に接続できる)	A© A⑦ A⑩	[技術的能力]添付資料1.14.5
		3	(村	験・検査 資査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
ΙI	第 1 項	第 4 号		切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-
第 4	•	第5号	悪影響防止	系統設計	【計測に必要な電源喪失時】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	Αb	-
3 条	$ \ $			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	_	_
	$ \ $						
Ш			Ш	その他(飛散物)	対象外		-
		第6号		設置場所	現場操作 (操作は散置場所で可能)	Λа	[補足説明資料]58-2 配置図
	ΙI	第1号	ı	可搬SAの容量	その他 (設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範) (原子炉容器及び原子炉格納容器内の温度,圧力,水位及び流量(注水量)等の計測用として38個、故障時及 び保守点検時のバックアップとして19個の合計57個)	С	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 3.計測 装置の構成
	ΙI	第 2 号		可搬SAの接続性	専用の接続	D	-
		第3号	異	なる複数の接続箇 所の確保	対象外	/	-
		第 4 号		設置場所	SFP事故時以外に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	В	[補足説明資料]58-2 配置図
ш	第 3 項	第5号		保管場所	【計測に必要な電源喪失時】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし 級和設備/同一目的のSA設備なし	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
		第6号		アクセスルート	屋内アクセスルート	A	-
		第7号	共通要因故	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【計測に必要な電源喪失時】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備/同一目的のSA設備なし	/	-
			摩防止	サポート系要因	対象外(サポート系なし)	/	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58	8条	#	装部	之備	可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	類型化 区分	エビデンス
П			環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 / 放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
П			件に	荷重	(有効に機能を発揮する)		-
	1	1号	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
Н			健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	(87)
Н		4	性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	3	
	ш	第 2 号		操作性	【CV水素濃度監視】 現場操作 (運輸設置:台車等により運輸、移動ができる設計、設置場所にて固定できる) (操作スイッチ操作: が動ができる設計、設置場所にて固定できる) (浄操作:弁操作等にて連やかに切替えられる) (接続作業:簡便な接続規格による接続、及び計装ケーブルの接続はコネクタ接続とし接続規格を統一し、確実に接続できる)	A6 A7 A9 A10	[技術的能力] 添付資料1.9.7
		第 3 号	(村	験・検査 食査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	-
1 1	ı	第 4 号		切り替え性	DB施設としての機能を有さない (弁を設置)	Ba1	1
第 4		第 5 号	悪影響防止	系統設計	【監視機能喪失時】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	Аь	-
3 条			îŁ	配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
П				その他(飛散物)	対象外		_
		\dashv	Н	CマンnB(JK 個X型の)	AJ #S/P		_
	ı	第6号		設置場所	現場操作 (操作は設置場所で可能)	Λа	[補足説明資料]58-2 配置図
	ı	第1号		可搬SAの容量	その他 (設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲) (保有数は1台、故障時及び保守点検時のバックアップとして1台の合計2台)	С	[補足設明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	ı	第 2 号		可搬SAの接続性	簡便な接続規格 専用の接続	C D	-
	ш	第 3 号	異	なる複数の接続箇 所の確保	対象外	/	-
	ш	第 4 号		設置場所	SFP事故時以外に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	В	[補足説明資料]58-2 配置図
1 1	第 3 項	第 5 号		保管場所	【C/V未素濃度】 緩和設備/同一目的のSA設備なし/屋内 (原子好建盤)	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
	ı	第 6 号		アクセスルート	屋内アクセスルート	Α	-
		第 7 号	共通要因	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【C/V水素濃度】 緩和設備/同一目的のSA設備なし/屋内	/	-
		- 1	防止	サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	D	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58	8条	11	装部	と備	可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット (アニュラス水素濃度)	類型化 区分	エビデンス			
				環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図			
Н		第		荷重	(有効に機能を発揮する)	-	(m)			
		1号	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	/	-			
П			健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	17			
Н				他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	18			
	- 1	第2号		操作性	【水素濃度監視】 現場操作 (運搬設置:台車により運搬、移動ができる設計、設置場所にて固定できる) (操作スイッチ操作:付属の操作スイッチにより操作可能) (弁操作:弁操作等にて連やかに切替えられる) (接統作業:簡便な接続規格による接続、及び計装ケーブルの接続はコネクタ接続とし接続規格を統一し、確実に接続できる)	A (6) A (7) A (9) A (10)	[技術的能力] 添付資料1.10.5			
		第 3 号	(村	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	-			
ΙI	- 1	第 4 号		切り替え性	DB施設としての機能を有さない (弁を設置)	Ва1	-			
第 4		第5号	悪影響防止	系統設計	【監視機能喪失時】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	Ab	-			
3 条				配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	_			
	-	4	Ш	その他(飛散物)	対象外		-			
	- 1	第6号		設置場所	現場操作 (操作は設置場所で可能)	Λа	[補足説明資料]58-2 配置図			
	- 1	第 1 号		可搬SAの容量	その他 (設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲) (保有数は1台、故障時及び保守点検時のバックアップとして1台の合計2台)	С	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測 装置の計測範囲及び警報動作範囲			
	- 1	第 2 号		可搬SAの接続性	簡便な接続規格 専用の接続	C D	-			
	- 1	第 3 号	異	なる複数の接続箇 所の確保	対象外	/	-			
	- 1	第 4 号		設置場所	SFP事故時以外に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	В	[補足説明資料]58-2 配置図			
ш	頂	第 5 号		保管場所	【A/N水素濃度】 緩和設備/同一目的のSA設備なし/屋内 (原子炉建屋)	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図			
	- 1	第 6 号		アクセスルート	屋内アクセスルート	Α	-			
		第7号	共通要因故障	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【A/N水素濃度】 緩和設備/同一目的のSA設備なし/屋内	/	-			
		-	障防止	サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる摩動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	D	-			

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58	条	計	装部	交備	原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)	類型化区分	エビデンス
П				環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉速屋及び緊急時対策所)	Вd	[補足説明資料]58-2 配置図
		第	件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
		号	る	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
Н		- 1	健全	電磁波	(機能が損なわれない)	in.	-
Н	L	Ц		他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
	- 1	第2号		操作性	現場操作 (連焼設置:人が携行して移動可能) (弁操作:弁操作等によりて連やかに切り替えられる) (接続作業:接続は、簡便な接続機各とし、確実に接続できる)	Λ⑥ Λ⑨ Λ⑩	[技術的能力]添付資料1.7.5
		3	(村	験・検査 発査性、系統構 外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	-
	- 1	第 4 号		切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-
第 4		第5号	悪影響防止	系統設計	【監視機能喪失時】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	Αb	-
3 条				配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	_	-
	-	4	Ш	その他(飛散物)	対象外		-
	- 1	第6号		設置場所	現場操作 (操作は設置場所で可能)	Λа	[補足説明資料]58-2 配置図
	- 1	第 1 号		可搬SAの容量	その他 (設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲) (保有数は1台、故障時及び保守点検時のバックアップとして2台の合計3台)	С	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測 装置の計測範囲及び警報動作範囲
	- 1	第 2 号		可搬SAの接続性	簡便な接続規格	С	-
		第 3 号	異	なる複数の接続箇 所の確保	対象外	/	-
		第 4 号		設置場所	SFP事故時以外に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	В	[補足説明資料]58-2 配置図
	頂	第 5 号		保管場所	【最終にトシンク確保】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 級和設備/同一目的のSA設備なし	Аь	[補足説明資料]58-2 配置図
	- 1	第 6 号		アクセスルート	屋内アクセスルート	Α	-
		第7日	共通要因故	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【最終レージン/確保】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメーウは、重要な監視パラメーウと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備なし	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
		- 1	除防止	サポート系要因	対象外(サポート系なし)	/	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

00000	G.T.	pille.	gomi			discount or	333 27
第58	8条	#	0140	0000	可樂型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	類型化 区分	エビデンス
			環境条件	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 /放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉雄屋及び原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			E	荷重	(有効に機能を発揮する)		-
			おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	
Н			健全	電磁波	(機能が損なわれない)	-	(85)
Н	ļ		性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	
		第2号		操作性	現場操作 (運搬設置:人が携行して移動可能) (操作スイッチ操作:付属の操作スイッチにより操作可能) (接続作業:計装ケーブルの接続は、ジャック接続とし、接続規格を統一することで、確実に接続できる)	A (6) A (7) A (8)	[技術的能力] 添付資料1.7.4,5
		第3号	(村	験・検査 発査性、系統構 外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
ΙI		第4号		切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	B a2	-
第 4		第5号	悪影響防止	系統設計	【パラメータの記録】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	Аь	-
3 条				配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
Ш				その他(飛散物)			_
Ш		_	Ш	ての他 (飛取物)	対象外		_
		第6号		設置場所	現場操作 (操作は設置場所で可能)	Λа	[補足説明資料]58-2 配置図
		第1号		可搬SAの容量	その他 (設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲) (保有数は3個、故障時及び保守点検時のバックアップとして1個の合計4個)	С	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 3.計測 装置の構成
		第 2 号		可搬SAの接続性	専用の接続	D	-
		第 3 号	異	なる複数の接続箇 所の確保	対象外	/	-
		第 4 号		設置場所	SFP事故時以外に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	В	[補足説明資料]58-2 配置図
ΙI	第 3 項	第 5 号		保管場所	【計測に必要な電源喪失時】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備/同一目的のSA設備なし	A a	[補足説明資料]58-2 配置図
		第 6 号	,	アクセスルート	屋内アクセスルート	Α	-
		第7号	共通要因故障	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【計測に必要な電源喪失時】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備/同一目的のSA設備なし	/	-
			防止	サポート系要因	対象外(サポート系なし)	/	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

第58	8条	11	接影	之備	使用済燃料ピット水位(可搬型)	類型化区分	エビデンス
			環境	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候	C/V以外の屋内-SFP事故時に使用	Вь	[補足説明資料]58-2 配置図
Ш		***	条件	/放射線 荷重	(原子炉建屋又は燃料取投棟) (有効に機能を発揮する)		
		1	におけ	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
		- 5	る健	電磁波	(機能が損なわれない)	-	6
Ш	$ \ $		全性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)		-
	•	第2号		操作性	【SFPの監視】 現場操作 (連搬設置:人力により連搬、移動できる設計) (接統作業:変換器及びワイヤーの接続は、確実に接続できる、取付金貝を用いて確実に取付) (接統作業:ケーブル接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することで、確実に接続できる)	Λ⑥ Λ®	[技術的能力] 添付資料1.11.17
		第 3 号	(核	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性の確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料
1 1	第 1 項	第4号		切り替え性	【SFPの監視】 DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-
第 4		第 5 号	悪影響防止	系統設計	【SFPの監視】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	Аь	-
3 条				配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
				その他(飛散物)	対象外	/	-
		第6号		設置場所	現場操作 (操作は設置場所で可能)	Λα	[補足説明資料]58-2 配置図
		第1号		可搬SAの容量	【SFPの監視】 その他 (重大事故等により変動する可能性のあるSFP上部から底部近傍までの範囲にわたり測定できる設計) (保有数は1セット2個、故障時及び保守直検時のバックアップとして 1個の合計3個)	С	[補足説明資料]58-7 主要パラメータの代替 パラメータによる推定方法について
		第 2 号		可搬SAの接続性	専用の接続	D	-
		第3号	異	なる複数の接続箇 所の確保	対象外	/	-
		第4号		設置場所	SFP事故時に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	Α	[補足説明資料]58-2 配置図
П	第 3 項	第5号		保管場所	【SPPの監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし/屋内 緩和設備/同一目的のSA設備なし/屋内	A a	[補足説明資料]58-2 配置図
		第 6 号		アクセスルート	屋内アクセスルート	Α	-
		第7号	共通要因故障	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【SFPの監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備/同一目的のSA設備なし	/	-
			防止	サポート系要因	対象 (サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持つ代替電源から給電)	D	-

[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

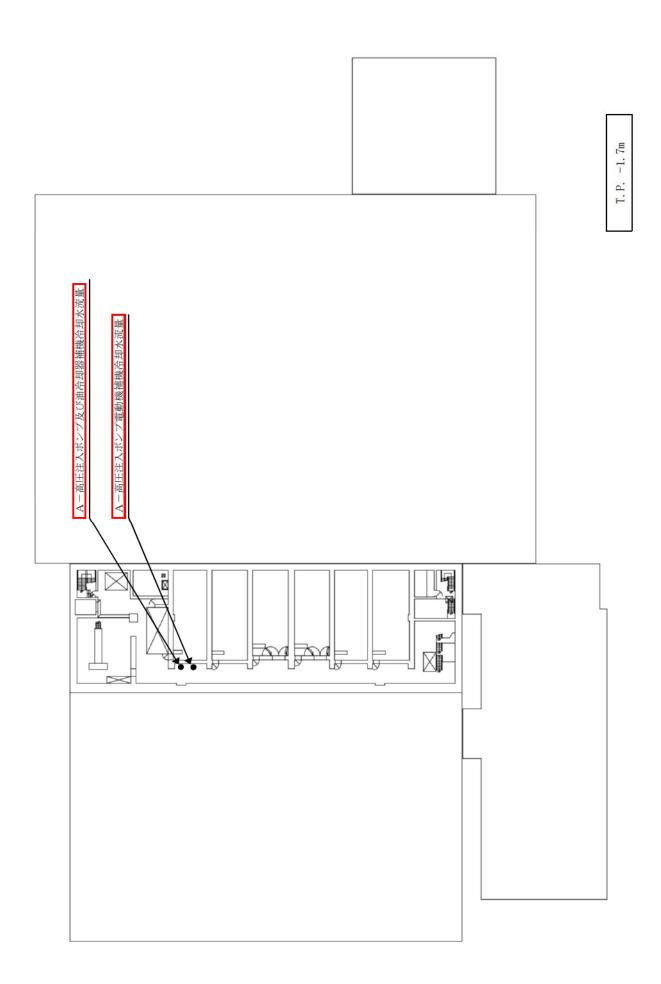
第5	8条	#1	張記	设備	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	類型化 区分	エビデンス
			環境条	環境温度・湿度・ 圧力/屋外の天候 / 放射線	C/V以外の屋内-SFP事故時に使用 (原子炉建屋又は原子炉補助建屋) 屋外	Вь	[補足説明資料]58-2 配置図
Ш		第	件に	荷重	(有効に機能を発揮する)	-	(F)
		1 号	おける	海水	対象外(海水を通水しない)	7	-
Ш	$ \ $		健全	電磁波	(機能が損なわれない)	i.e.	(5)
Ш			性	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	9	
		第2号		操作性	【SFPの監視】 現場操作 (運搬設置:人力により運搬、移動できる設計、間縛等により確実に固定できる) (操作スイッチ操作:付属の操作スイッチにより現場で操作可能) (接統作業:ケーブル接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することで、確実に接続できる)	А© А⑦ А⑩	[技術的能力]添付資料1.11.17
		第 3 号	(核	験・検査 検査性、系統構 ・外部入力)	計測制御設備 (特性の確認が可能なように線源校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験·検査説明資料
1 1	第 1 項	第 4 号		切り替え性	【SFFの監視】 DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	1
第 4		第 5 号	悪影響防止	系統設計	【SFPの監視】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	Аь	-
3 条	$ \ $			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
Ш	$ \ $						_
Ш			Ш	その他(飛散物)	対象外		-
		第6号		設置場所	現場操作 (操作は設置場所で可能)	Λа	[補足説明資料]58-2 配置図
		第1号		可搬SAの容量	【SFPの監視】 その他 (重大事故等により変動する可能性のある範囲にわたり測定できる設計) (保有数は1セット1個、故障時及び保守点検時のバックアップとして 1個の合計2個)	С	[補足説明資料]58-7 主要パラメータの代替 パラメータによる推定方法について
		第 2 号		可搬SAの接続性	専用の接続	D	1
		第3号	異	なる複数の接続箇 所の確保	対象外	/	-
		第 4 号		設置場所	SFP事故時に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	Α	[補足説明資料]58-2 配置図
П	第 3 項	第5号		保管場所	【SFPの監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし/屋内 級和設備/同一目的のSA設備なし/屋内	Аа	[補足説明資料]58-2 配置図
		第6号		アクセスルート	屋内アクセスルート 屋外アクセスルート	A B	-
		第7号	共通要因故障	環境条件、自然現 象、外部人為事 象、溢水、火災	【SFPの監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備/同一目的のSA設備なし	/	-
			防止	サポート系要因	対象 (サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持つ代替電源から給電)	D	-

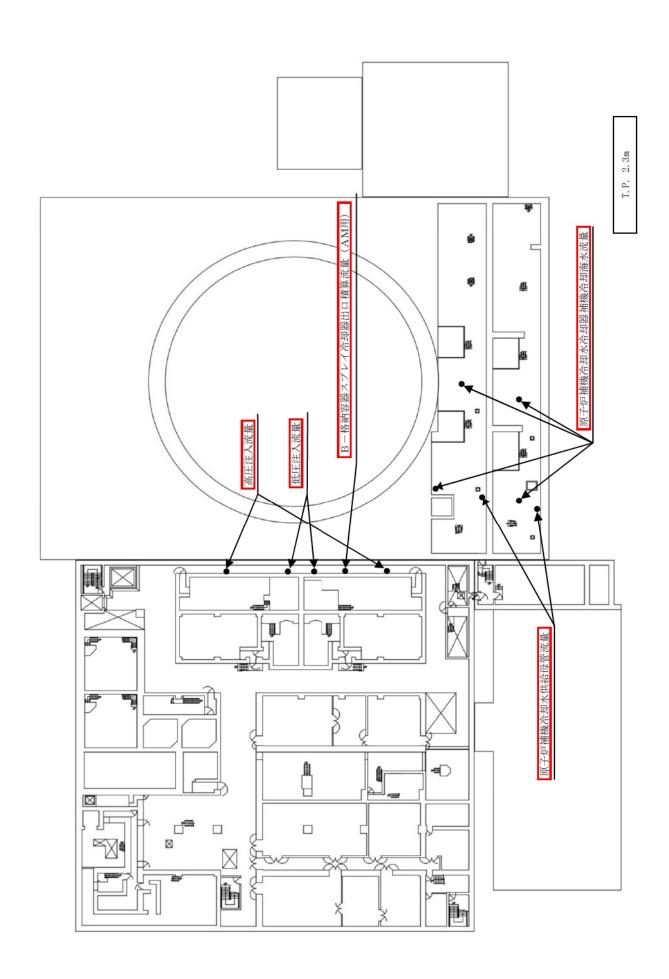
[・]記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

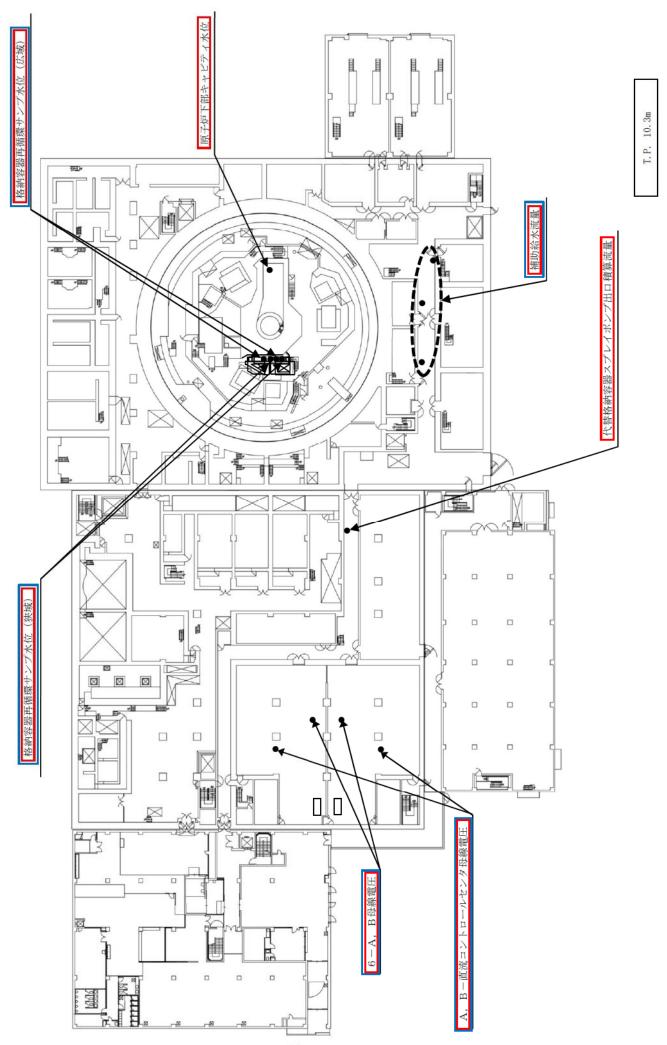
凡例

: 設計基準事故対処設備等

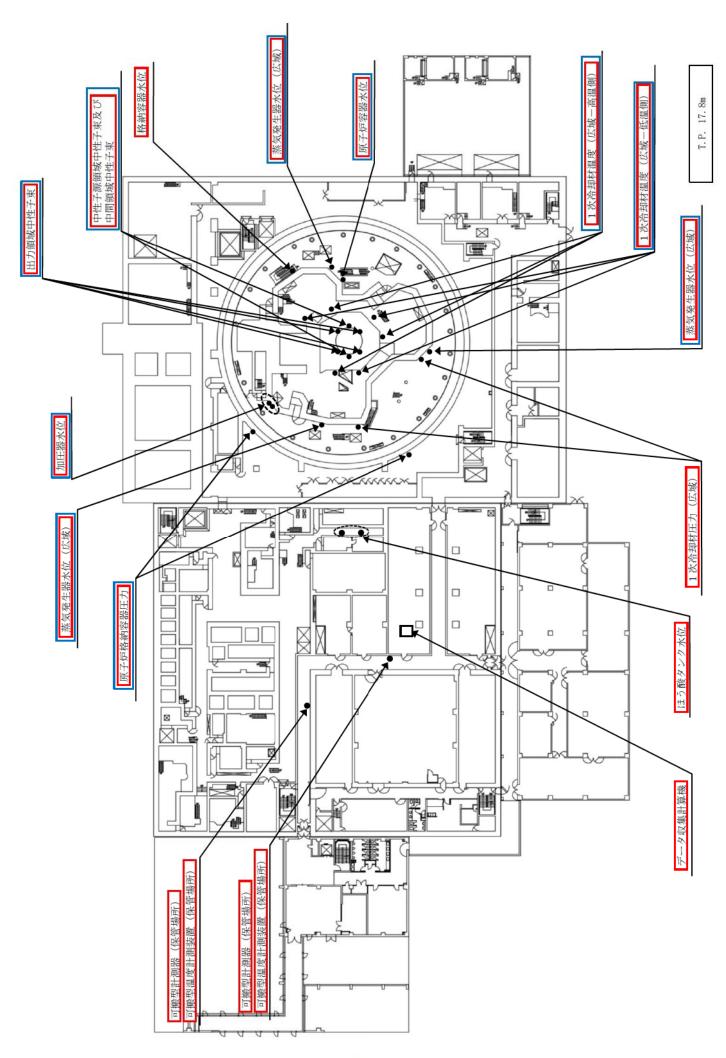
: 重大事故等対処設備

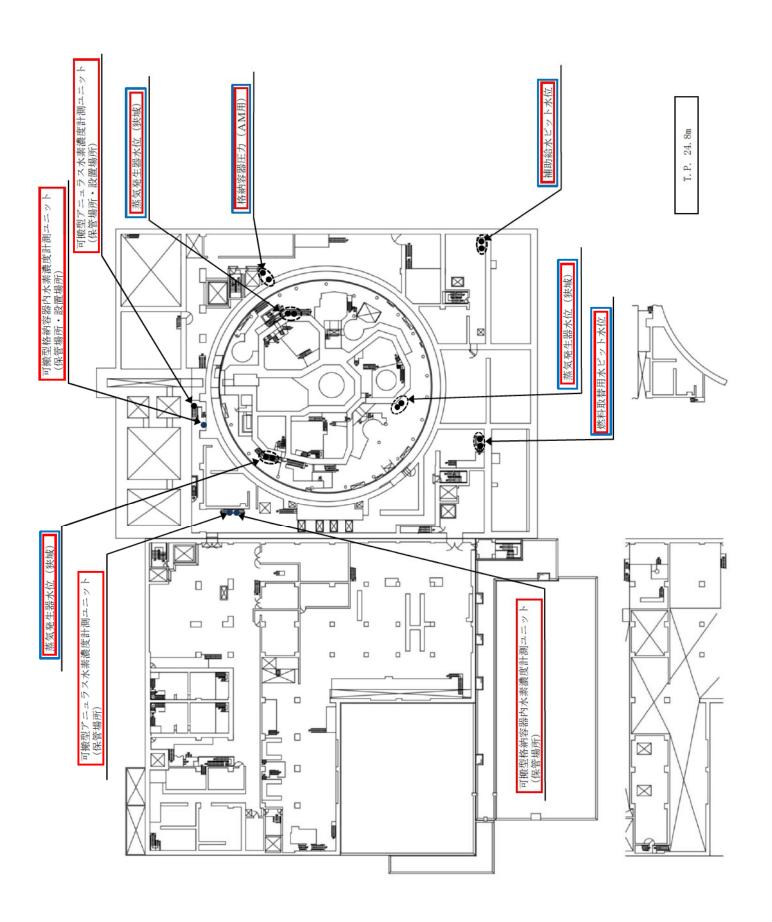


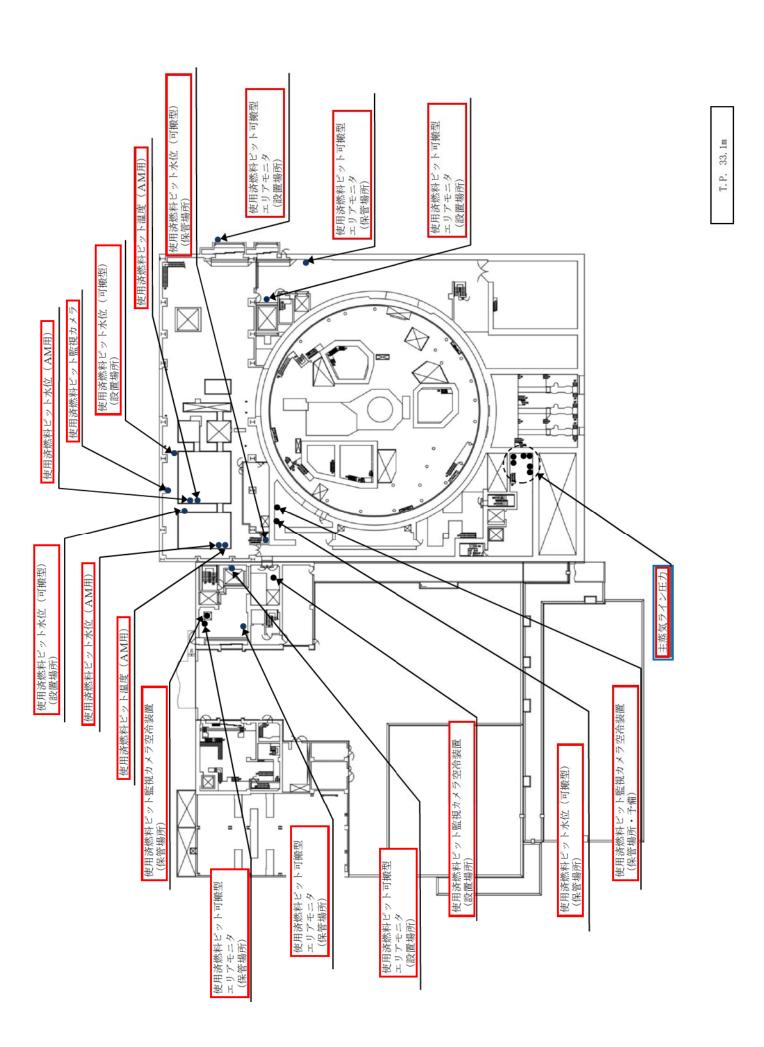


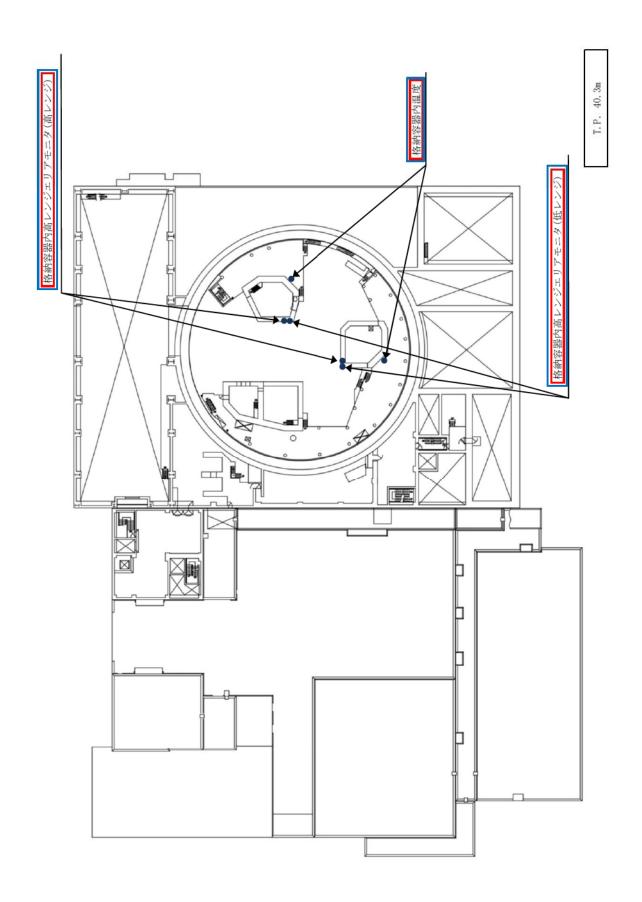


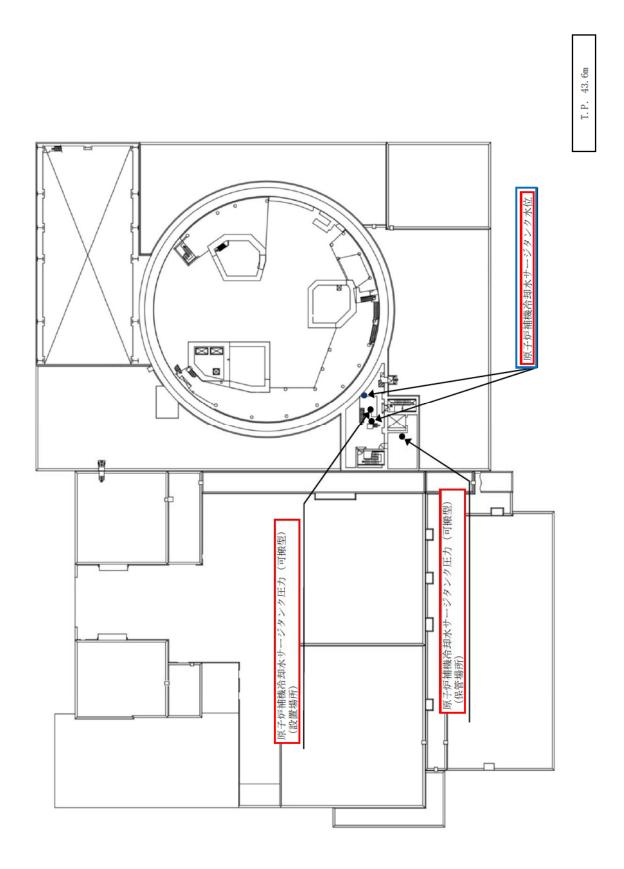
58-2-3

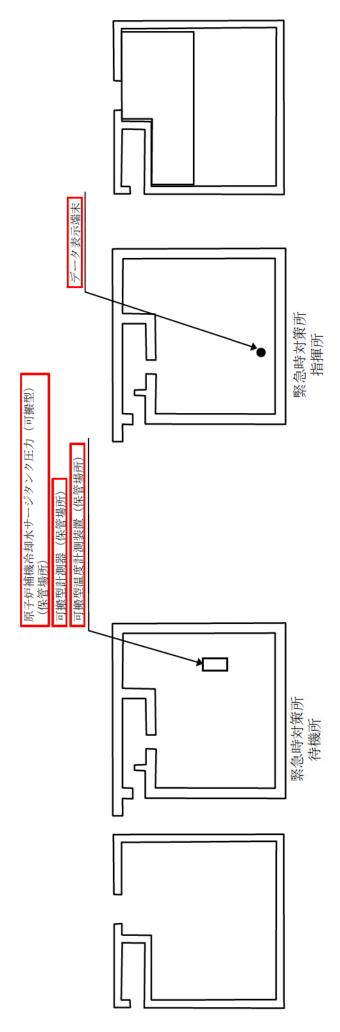












lo
300
TFE.
雅
框
整
II)
60
胚
雛
縲
-01

機器又容然統名	()	金田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	点核及び紫癜の凝田	保全方式	蒸料	新の大学の機能を対象を
			· 李松 华 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	217	经企业 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	CAND OF THE		· 位配 · 位 · 位 · 位 · 位 · 位 · 位 · 位 · 位 · 位	TAL ? TA	1	
	3.10~1021 1038 103 103 103 103 103 103 103 103 103 103	ΉE	少解水廠(指戴品水鐵信)	1 3 M		
			弁座編えい状験	1 3M	86 1次系安全奔檢查	
			機能·性能軟骸	2 6 M	85 1次系安全非检查	
	37-00-0057 3 A - 動御用空気等却勝 ドワンセスフーク 安全体	摊	公葬兵衛	2 6 M		
			弁座編えい歌戦	2 6 M	85 1次深安全非檢查	
			禁能・性能軟験	2 6 M	85 1次深安全非檢查	
點與埃埃瑟莊原在	3A-C0-005B 3 B - 整御耳倒覚や整體 ドフンカスアーグ 収合者	極	公齊兵衛	2 6 M		
[制御用空気設備]			弁座儀とい歌戦	2 6 M	85 1次系安全非檢查	
			蒸船・柱路実験	7 8 M	85 1次沒按全非衝路	
	3V-C0-006A 3.A - 航御用空気だめ安全弁	摊	公費技術	7 8 M		
			弁座権えい実験	7 8 M	85 1次系安全杂物查	
			統治・生命対象	7 8 M	85 1次深安全产债益	
	37-C0-006B 3.B - 関御用空気だめ安全者	慩	少葬庆衛	7 8 M		
			弁座編えい教験	7 8 M	86 1次亲安全奔检查	
	その依頼器 1式	WE	公餐点徵 街	13M~ 156M		
	原子が保護ネロジック回路 で原子等・リングで係るもの ア連的から本語はジック回路	施	桃館·性脂軟戰	10	33 安全保護系機能檢查	
	原子は下リップ 工学的学会を認める場合 原子の存在を参加を発生されたののよう ての石造物、最近最近の保護制度 (1) 7次全部存金計量等度 元素等 元素等を計算等度 元素等 元素等を計算等度 元素等 (2) 核中等等度 (2) 核中等等度。 原本等等度。 (3) 26 度	姫	奉 在 於 慶	1 3 M	34. 安全保護系統定管衛務被查	※ 金田県 光田 —
	現場における重要な指示計器 (1) 1 次予当体等計劃設置 の場合が計					
	事能時溫稅計職 指示計 2.8個	摊	特性影響	1.3 M	35 プラント状態監視設備機能検査	王器水位
	保取製備	聊	機能・性能対験	10	36 プラント状態監視設備機能検査 原	子炉格納容器圧力
計選基實示発指数 [その他設備]	質衡審制資系 加田器大位數商系 阿田器正力數部系 懸金第七年84大戶劃額	摊	機能、性能軟體	10	任 一种發音發來重進電話 L2	蒸気発生帯水位(狭域) 主溢気ライン圧力
	1次米异面的保護團 200個 股份縣 化水流流光谱 126個	滙	存在政策	1 3 M	72-1 計規制御系監視機能検査《その1)	·一部生育定檢 ·一部定検起動後
	2次來學面的解謝 介施聯 表示 表示 表示的 表示的 表示的 表示的 表示的 表示的 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示 表示	梴	棒性狀態	1 3M	72-2 計御朝御采覧視機能依査(その2)	
	1次采及5.2次涂料酒群保装圈 供洗器 6.7卤 股份服	東京	要你对每	1 3 M	72-3 計別制御発監視機能検査(その3)	一部先行定檢
	中在子遊館技生選報館 2台 中国監督科学選報順 2台 因为電影特護議團 4台	þΕ	参 和教學	1 3 M	105 核計業融價檢查	- 部定衡起數後
		框	桃館・性能軟験	10	105 核計裝配備検査	
	無衛棒位置指示禁匿 1式	Œ	布在代數	1 3 M	108 制御棒位廣播小茶買製石価槍強	
	育内学被用シンプルチャープ 80巻	摊	非設捷配數	7 8 M	109 炉内計製用シンブルチューブ体積終査	

試-計-14

北海道電力株式会社 泊発電所 3号機 第2保全サイクル 定期事業者検査要領書

設 備 名:計測制御系統設備

検 查 名:安全保護系設定値確認検查

要領書番号: HT3-34

-	回
-	1
1	Œ.
S. Sand	墨
	60
1	調の
All wide	湖田
1	-

減精漿 (薬器名)	宋 神 神 成 多 原	有権及び実験の適用	艾娜		施施を受験を表現を
		· 旅館・性能実験	1 3M	85 1次深安全非核酯	
開発知器安全非	推	少解点值 (指戴品型螺笛)	1 3 M		
		井田道之い党職	1 3M	86 1次系安全李检查	
		機能・性能軟骸	2 6 M	85 1次系安全单检查	
アンセスフーク数全律	媈	少群兵衛	2 6 M		
		井田雅えいまま	2 6 M	85 1次深安全中检查	
		挑船·住信款款	2 6 M	85 1 次%按合字整衡	
フンセスワーク収全年	極	公解成檢	2 6 M		
		弁座編えい教験	2 6 M	85 1次系安全单档查	
		樂船・柱館実験	7 8 M	85 1次妥安全非检查	
37-00-0064 3.4 - 阿姆用空気だめ安全者	推	公聲玩勵	7 8 M		
		井原道とい実験	7 8 M	85 1次系安全弁檢查	
		楽船・有船大撃	7 8 M	85 1次吳安全李檢查	
	恒	少葬成都	7 8 M		
		井座道とい実験	7 8 M	85 1次亲安全李检查	
	摊	分解点徵 他	13M~ 156M		
28回路 の) 27回路	梴	桃館・生館軟験	10	33 安全保護系機能檢查	
(4) 金融の (4) できた (4) できた (4) できた (4) できた (4) できた (4) できる (4) できる (4) できまた	¥Ε	李在武康	I \$M	34 安全保護系設定資業認券宣	※養母也別起—
(2) ⊗					
2.8億	框	特性政學	1 3 M	35 プラント状態監視設備機能検査	
操款股債 1台	迪	桃畠・性信状数	10	35 ブラント決策難故疑権機免疫	1次治却材温度(広域-高温側)
	悼	桃館・性餡乾酸	10	71 計劃額御采機館檢查	1 次冷却材温度 (広域ー低温側) 1 次冷却材圧力 (広域) 粉熱寒器電流器 センナメや (広域)
	運	幸性失變	1 3 M	72-1 計別創御系監視線船検査 (その1)	格赦容器再循環サンプ水位(狭域)格赦容器内面フンジコファモニタ(河フンジ)
	炬	命性軟體	1 3 M	72-2 計画創御深鑑地線監査 (その2)	格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 蒸気発生器水位(広域) 補配鈴水華豊
通	流	春和敦繁	1 3 M	72-3 計画制備系監視機能検査 (その3)	無利取者用水ピット水位 ほう酸タンク水位
44.40 44.40	摊	嚴定却奪	1 3 M	105 核計裝配價格查	補助給米ポット水 位
程1	¥E	機能・性能状験	10	105 核計裝設備検査	
**	诞	ない。	1 3 M	108 制御棒位置指示裝置設定值後查	
7 504	施	岩張鄉敦繁	7 8 M	109 音気草鎌田ツンレジャルーレ等番巻橋	

試-計-16 別紙1-39

北海道電力株式会社 泊発電所 3号機 第2保全サイクル 定期事業者検査要領書

設 備 名: 計測制御系統設備

検 査 名: プラント状態監視設備機能検査

要領書番号: HT 3-35

試-計-17

治路離所3 号機 点検芋面

1970年1982 1970年1982年 1970年	秦聯內在坐施名	来施勢 (機器名)	は	点検及び試験の項目	保全方式スタイン	被納	A Section of the sect
1970年20日 1970年2	Washington Street, Name of the Street, Name of		対解明		極		UNITED TO SECTION OF THE PROPERTY.
3.5 1982				機能・性能試験	13M	85 1次票货全华检查	
1970年1974年 1970年		37-00-0038	運	分奪点後(消耗品效益他)	13M		
3.A 一般所出版表示の報告 2.DAM 3.1 人の経過 2.DAM 3.1 人の経過 2.DAM 3.1 人の経過 3.2 人の経過				井座舗えい状態	13M		
		1200 to the State of the State		機能・性能軟験	2 6 M	85 1次深安全非檢查	
1970年20日 1970年2		リング サバム 本語 最近 東京 単純 東京 単純 東京 単純 東京 東京 中央 アンド アンド	揮	公葬兵士	2 6 M		
2 0 km				弁座響えい実験	2 6 M	85 1 次买货金井楂酱	
				※節・生語実験	2 6 M	85 1次深安全并检查	
中国語名に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	部類版作品 在前右	中 東京 中 ランカスフー	運	分解点徵	2 6 M		
	[国資用公然設建]			弁阻論とい実験	2 6 M	85 1 次来安全存储查	
10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				機能・性能軟験	7 8 M	85 1 次派安全中检查	
19 19 19 19 19 19 19 19		37-00-006A 3.4 一部御用物製だら安全体	摊	分解系数	7 8 M		
				弁屈者えい状態	7.8 M	85 1 次系安全弁論查	
20 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日				機能・性能試験	7 8 M	85 1次系安全弁検査	
中国		37-50-0068 3 日 - 起筆田切覧だめ役争者	¥Ľ	分解点後	7 8 M		
中央の機構を対している。				弁座舗えい戦略	7 8 M	85 1次买安全非检查	
工作で発表する 1 日		その金銭器 1式	Æ	分解机械 街	13M~ 156M		
日本学術を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を		原子が成職をロジンで回路 28回路 (原子が下が) アンプロボルカン (原子が) 1970年の	ΉĽ	機能・性能軟験	10	33 安全保護系機能按查	
(2) 19年2年 19年3年		十世 大手 大手 大手 大手 大手 大手 大手 大					
(3) 海型接近 (2) 海型 (2		(1) 18年8年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 18年 1	1	The Control of the Co	;		TO THE CAN PERSON OF
(4) 26 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		(2) 核計謀禁層 股左聯	Œ	44位 1000	N 8	有寒险壁幕设备失鹅先例以 45	一部角質物
株式							
株別学院 株別学院 株別学院 株別学院 10 35 プラント映画院 10 10 10 10 10 10 10 1		事故16監視計算 指示計 指示計 28個	滩	年在安徽	1.3 M		
15 15 15 15 15 15 15 15			樂	機能・性能軟験	10	35 プラント状態監視政権機能検査	
本性が数 1.3 M 72-2 計范順荷学監修業 (その1)	計划制御予結施設 [その他配備]	生变等能够不 可压搬长负重整张 方压哪几十重整张 第 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	摊	機節・在倍製製	O	71 計划期(南系縣部)檢查	前定掉起勤後
2		《教》就并指述《四篇》 1.文》字四面是文明 表示。 表示: 元、《教》: 1.8.6回 元、《教》: 1.8.6回	¥Ĭ	奉徒智樂	1 3 M	72-1 計劃制備深點複雑能確宜(その1)	· 一部先行定格 · 一部定核型影後
高・佰 幸性智樂 13M 72-3 計別制御祭昭祝總能資貞(その3) 成 施報・社部書職 13M 105 校計報配備疫債 成 施利・住的事業 1 C 105 校計報配備疫債 成 施施・住的事業 1 C 106 校計報配備疫債 方 1 C 106 校計報配備疫債 方 1 C 109 所得指配所需要 成 施施・住的事業 1 C 110 報方品職等額查貞(ペートンップロジ 成 施施・住的事業 1 C 110 報方品職等額查貞(ペートンップロジ		2次次年四世月波剛 京成部 表示部 表示部 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	ÞŒ	婚益地毒	1 8 M	(202)	文治却材温度(広域-高温側) 文治却材温度(広域-低温側)
成 株性が装 1.3 M 105 核計構影像後室 成 株性が装 1.0 Do 核計構影像後室 (本性が装 1.3 M 109 部外等付限化が変 (本性が装 7.8 M 109 即外非治期にシブルナッーが存储を直 (水・ミッンプロジ 10 数分品線体器的数点(ペーミッンプロジ (水・ミッンプロジ (水・ミッンプロジ (水・ミッンプロジ (水・ミッンプロジ (水・ミッンプロジ		1 次次及び2次分単型監督整備 行政部 5 7 回 1 日 回 1 日 回 1 日 回	施命	奉有智樂	13M	(£03)	田聯大位 禁停調内通原 5. 19 19 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18
減 施品 10 10 20 10 20 10 20		中性子類實施計圖報酬 2台 中間電影計圖報酬 2台 田力電影計圖報酬 4台	極	神性致躁	13M		+PP格納谷商庄力 医聚生器木在(狭城) 高級年器末在(床庫)
13M 108 108 109		炉内埃井倒装屋 1式	運	機能・性能軟験	10		100-4-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-
存 雑 学録音学製 7.8M 109 相 楽器・右船学製 1.C 110			框	种性砂 瓣	1 3 M	108 制資釋在西指示樂而吸亞值法克	
本 ※他·在船架廠 1C 110		炉内計装用シンプルチューブ 50本	¥E	并很難我幾	7 8 M	109 炉内計装用シンプルチューブ体護検査	
		スーパックアロシック回路 の回路 (順本を実験後もなって産業) (国本を大きな事業) (国本を大きな人のアレコン・アロジ・アロギー ままれを発覚して) ままれを発覚して)	摊	然語・生記実験	10	110 気全保護系機能検査(バーミッソプロジック 110 査)	*

別紙1-39

北海道電力株式会社 泊発電所 3号機 第2保全サイクル 定期事業者検査要領書

設 備 名:計測制御系統設備

検 査 名:計測制御系監視機能検査(その1)

要領書番号:HT3-72-1

治器電所3号機 点検計画

編 株 の内は適届する政権診断技術))																		※豪				御 後	/定被 法起動後		養	低压注入鴻幽 对压许入鴻卿	4水サージタンク水位		
			- 6															※ 養居養売出 —				- 部定権起動後	· 一部先行定被 · 一部定隸起勤後		一都先行定後	压注入流量压注入流量	子炉補機冷却		
液菌名	85 1次深安全并核查		86 1次亲安全李检查	85 1次系安全并检查		85 1次%安全中检查	85 1次深安全沖檢查		85 1次系安全申檢查	85 1次突安全非檢查		85 1次需安全非檢查	85 1次系安全亦検査		85 1次亲安全奔检查		33 安全保護系機能檢查	3) 生全保護系設定營備認持查		35 ブラント状際関係設備機能検査	35 ブラント状態階級限備機能被査	71 計划制御系統略检查	72-1 計図制御采監視機能検査 (その 1)	72-2 計劃制御米監視機能設置(その2)	72-3 計画制御米監視線艦検査 (その3)	105 校計装配價給查	105 核計裝配備検査	108 建資俸白賣指牙猴賣裝角賣茶桶	109 炉内計楽用シンブルゲルコーン体積後減
保全方式 又は 擬度	1 3 M	1 3 M	1 3 M	2 6 M	2 6 M	2 8 M	2 6 M	2 6 M	2 6 M	7 8 M	7 8 M	7 8 M	7 8 M	7 8 M	7 8 M	13M~ 156M	10	1.3 M		1 3 M	10	10	1 3 M	1 3M	1 3 M	1 3 M	10	1 3 M	7 8 M
点検及び診験の項目	燃船・性能制制	分解点徵(指馬品が製価)	弁座置えい表験	機能・性能散散	分解疾亡	弁座編えい戦戦	桃舎・性信歌殿	分解点檢	弁匪潰えい戦戦	機能,性能衰衰	分解点物	弁座編えい実験	機能・性能散験	少鄰京衛	井座編えい教験	公弊点徵 色	挑临,性能軟鞭	南 原 原		奉祖天際	楊倉・住信状験	姚鹃,性能軟鞭	春桂芙蓉	春社教養	存性狀態	幸仁政策	機能・性能軟験	黎 紀初非	岩碳酸紫酸
保全の重要度		施			摊			極			摊			極		깵	þŒ	₩		摊	項	þΕ	遲	妲	瀬・南	誕	邂	앭	施
漢雄歎 (樂聯名)	10条 世際次全体		1907-00-005.1 20-00-102.3 20-				29-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00			37-07-006A 3.A 制算用設定と改全条			3V-C0-006B 3B-開発用空気だめ安全音 その杜徳器 1式			その他機器 1式	原子が保護系ロジック回路 28回路 (原子畑トリップに係るもの) 工学的安全施設ロジック回路 27回路	62:02	製活器 24億	80 63	45	類個作用演奏 加压器水位制圖表 加压器在步向简杂 療效為生體亦位前歐深	1次采計閱創網裝置 取定器 指示監視計器 126個	3.效来計劃制御課題 供送器 股份 服務未整為計學 3.5個	1 次来及び2 次系計划制御禁匿 伝送器 程定器 発作器 2 個	中性子類領域計劃装置 2台 中間領域計劃装置 2台 因为領域計測装置 4台	炉内核計倒装置 1.式	超高等位置指示禁圈 13人	炉内計製用シンブルチューブ 50本
機器又往系統名								幸 図 基 選 米 炭 程 瀬 本 美 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	[学図恵館※ [から名版書]				⇒1 (

試-計-20

北海道電力株式会社 泊発電所 3号機 第2保全サイクル 定期事業者検査要領書

設 備 名:計測制御系統設備

検 査 名:計測制御系監視機能検査(その3)

要領書番号:HT3-72-3

E	=	
44	A 100 M	
201		
報料	900	
i di		

	MINISTER STATE OF THE PERSON NAMED IN COLUMN N	De de Co	CONTRACTOR STATE OF THE PARTY O	保全方式	-0	并
编辑人位别智治	對猶難 (議略布)	単単属	点権及び教職の項目	なが	茶	(の内は適用する数値参析技術)
	1.C. 0.0		熟価·性組状験	7 8 M	96 液体熱果物的攝系器確靠地	先行定義
	の一部事権大権権大きアン	±0	北聲江南	7 8 M		光行定論
	3HL215/M	3	慈虧・住館歌廳	1.17M	96 液体萬葉物於理深觀構裝重	为 行定論
放料性服務的O路線施設 [效体、液体又许固体臨射物 貯藏設備]	3 — 洗净抹大蒸留大ボンプ田諸製薬		公聲以南	1 1 7 M		为 行定衡
	39I.P19	Ä	然能・性能軟験	7 8 M	96 液体蔬菜物处理系酸蜡除壶	先行定義
	の一般後 ドワンダング		分聲示徵	7 8 M		先行定論
	その独奏器 1式	施	次解诉策 街	12M~ 130M		
放射性臨棄物の臨棄越設 「原子空格治中器本体外の監 基金的電影子の経験を設置 開催からの流体状の対象性 無物の過去、心の溶出報酬又行 自動響電波開	第1 総正等シンを制度へ入る機能が発表 第1 総正等シンを制度へ入る機能を対象 変数数の入入機能がある。 1 のでは、 1 のでは 1 のでは 1 のでも 1 のでも 1 のでも 1 のでも 1 のでも 1 のでも 1 のでも 1 のでも	珋	機能・性能軟績	0	第4年代の発生性顕微性の値がいの数日報顕及で 8 韓報報顕統統責権	先行定赦
	エリアモニタ 1台	姬	幸山大學	1.3M	63 エリア・プロセスモニク機能検討	
	プロセスモニタ 9台	W	奉在政際	1.3 M	63 エリア・プロセスモニタ機能検査	
放射線衛訊放影 「放射線衛用用料道波蘭」	プロセスモニタ 2台	框	機能・性能軟数	10	63 エリブ・プロセスモニク機能検査	
	エリアモニタ 14台 プロセスモニタ 18台	軭	奉任武學	1 3 M	78 放射療腦視游置機能檢查	
		摊	春和紫蘭 街	13M~ 130M	10 42	1912年一十月11日本
	アニュラス的数単伝派	恒	機能·性能軟數	10	19 アニュラス循環体気系機能検査 格納容	を変か 常る モフノンドン・ホータ (カフノン) 布薬 物能 石地フソン Hこん ホータ (ヤフソン)
	中央監督由米和王衛戦等中央影響をしたいクション。	框	療えい数類	5.9	140 中央朝御室空気洗入率測定検査	
			然着・性信状験	117M	77 1次系統和公園股積被重	
	3 - 格勢や聯絡数リイットスロダンス	Œ	分解反衝	117M		先行定检束た貧定物停止中
	3D-VS-052A	25	機能・性能影響	117M	77 1次系換気空圈設備検査	
	3A-梅茗移職権政ンドン田ロガンス		分解点後	117M		先行定檢または定檢停止中
		世	機能・性能軟験	117M	77 1次系裁氮空腦設備檢查	
	3 B - 布法や職権的ファンヨログンン		分解点值	117M		先行定権またほ定権停止中
放射線管理指標	3D-VS-053	èΕ	機能・性能試験	117M	77 1次沒樣気由器跟豬檢查	
「豊温水塩」	の一角器神器着人と対していた。		少餐社廳	117M		
	3D-VS-054	þ	機能,性能掀載	117M	77 1次系換気空網設備检查	
	3ーアニュラス雑気治域ダンバ		分群点物	117M		
	3D-VS-063	¥	桃龍,性能簌簌	117M	77.1次系数気空翻設備检查	
	ローコーコンな政権が対して		公難点指	117M		
<u> </u>	3D-VS-064	36	然前・性能状態	117M	77 1次系数氮空硼酸惰铵重	
	の一巻製作器権政府部グンス		公療所養	117M		
	3D-VS-065A	10	機能·性能軟験	117M	77.1次系換気空器設備按量	
	のA-梅瓷物語容別ンドン田ロゲンス		公齊兵衛	117M		先行定檢束たほ定檢修止中

別紙1-50

試-計-22

北海道電力株式会社 泊発電所 3号機 第2保全サイクル 定期事業者検査要領書

設 備 名:放射線管理設備

検 査 名:放射線監視装置機能検査

要領書番号: HT3-76

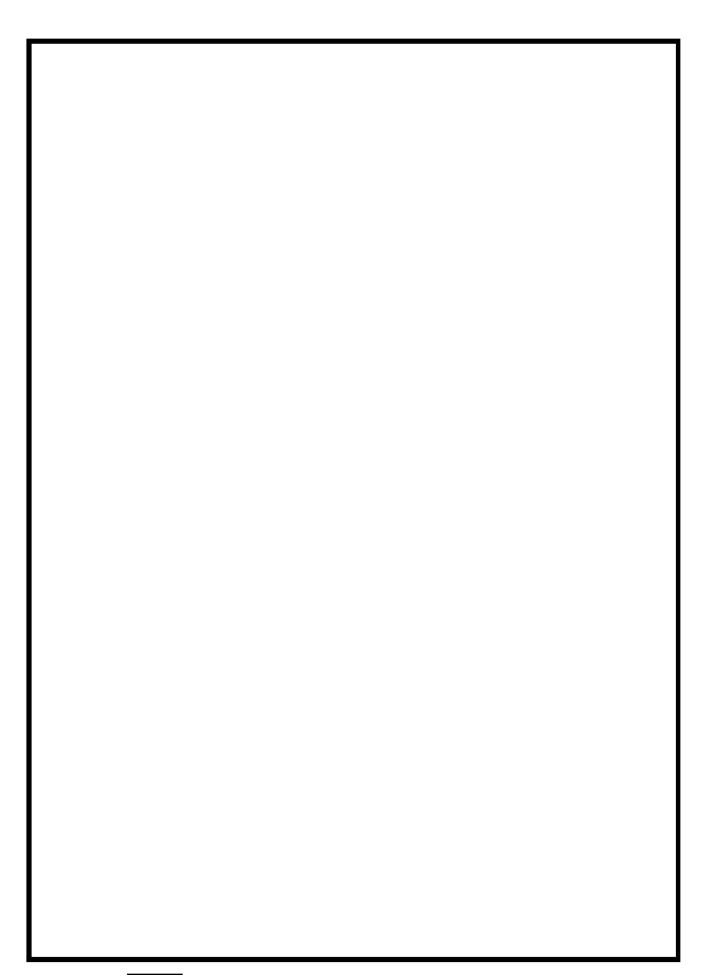
m	
1	
泰里	
1982	
恭	
の上	
報	
隊是	

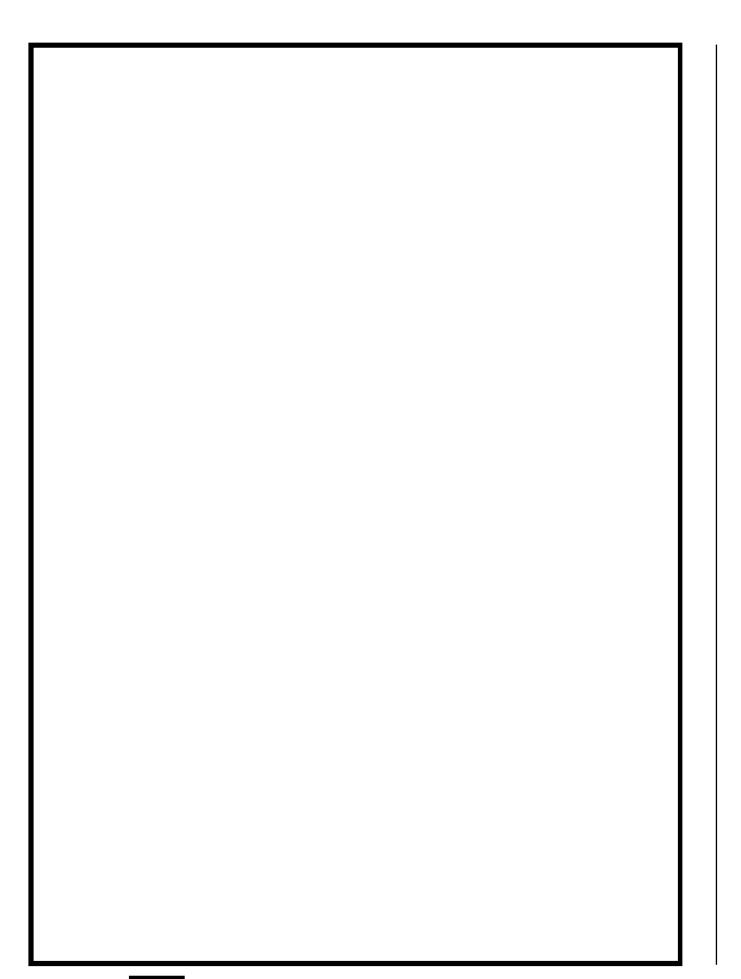
営工 (旅場名)	金融を変	点檢及び軟験の項目	(本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	被数	権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		機能・性能衰弱	1 3 M	85 1 次深安全华荷雪	
37-60-0038	姬	分解点徵(潛耗品交換值)	1 3M		
		弁座論えい実験	1 3 M	86 1次买安全牵被查	
		機能·性當軟數	2 6 M	85 1次表安全申偿债	
3/-00-005/ 3/-00-005/ 3/-00-005/ 3/-00-005/	僱	少群京植	2 6 M		
9		非座綱えい戦戦	2 6 M	86 1次派安全中债查	
		挑船·住船收款	2 6 M	85 1次紧发全中检查	
3A-C0-005B 3.B - 超循耳的気や包譜 ドフンカベアーが収合者	핻	公葬庆被	2 6 M		
		弁座編えい歌戦	2 6 M	85 1次采安全单档查	
		楽船・柱船実験	7 8 M	85 1次深安全非檢查	
38-00-0067 3.A - 阿賀田勃気だめ安全を	摊	公費收益	7 8 M		
		弁座編えい実験	7 8 M	85 1次派安全争被查	
		※他·在伯芙蓉	7 8 M	85 1次深安全非檢查	
3N-C0-006B 3.B - 別諸用空気だめ安全を	框	分解成物	7 8 M		
		井屋道えい実験	7 8 M	85 1次亲安全李帧查	
その他様器 1式	雇	公弊点徵 怕	13M~ 156M		
原子が保護来ロシック回路 28回路 (原子炉トリップに保るもの) 工学的教会施設ロジック回路 27回路	깵	挑館、性能軟鞭	10	33 安全保護系機能検査	
原子はトリッグ 1学年次を計算の方数、 原子は中央を表する際に指摘をよったのかと、 での元必能、既に参えて保護・職・ (1) 1次元を存在・経済を (2) 成元総 野企業(保護・経済を 野企業(保護・経済を 野企業(保護・経済を 野の第(保護・経済を 大の元総等(保護・経済を 大の元総等(保護・経済を 大の元総等(保護・経済を 大の元総等(保護・経済を 大の元総等(保護・経済を (2) 数下総第編	推	秦 李	1 3 M	34. 安全保護系別定置機器检查	※ 海口海 小田一
組織における国際介紹が半部 (1)1 A 役をおび等す金装削 (2) B 総権が手 総権を発す。8億					
2 8 8	框	命性軟變	1 3 M	35 プラント状態開発設備機能後直	
* 林梨秋縣	通	機能・性能状態	10	36 ブラント状衛監視設備機能検査	
整汽需基金级 各压器大行 整座股 有压器不分配金板 用取割不为超密站 烧成物条件基窗涂	悼臣	桃館、性能教験	10	71 軒鱼鱼衛子矮語梅址	— 部定會起動後
1次米計劃創資財廠 原作聯 290億 指示院総計器 126億	渥	布山美國	1 3 M	72-1 計園制御系監視機能検査 (その1)	- 一部先行左後 - 一部定隸起勸後
2次米半菌熱溶酵酮 京水粉 京水粉 京子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子	姬	李拉秀	1 3 M	72-2 計画創御米監視機能改進(その2)	
1次米及び2次米計御制物等層 伝送器 を必要 発作器 2個	減	布和敦毅	1 3 M	72-3 計周制御系監視機能検査 (その3)	一割先行定検
中性子類節域計劃裝置 2台 中間領域計劃消費 2台 田力領域計劃消費 4台	極	中位於類	1 3 M	105 核計等配價給查	一部定檢函數後
	掘	標準・性能状態	10	105 核計裝配備検査	力領域中性子東
超尚澤位置指示辖區 1式	施	非 你	1 3 M	108 建窗幕白雕指引擎開號的高數計	中間領域中性子東中性子東衛性子源領域中性子東
かる学業用シングケチューン ちの犬	施	地设施教教	7 8 M	109 が内学雑用シングラチューン等面欲判	

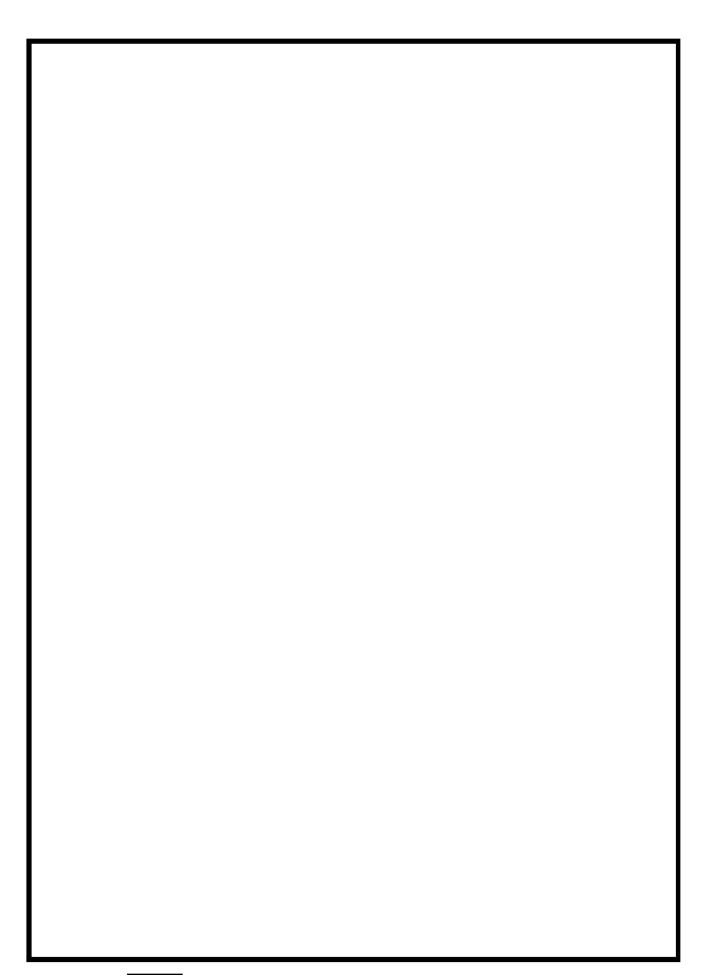
試-計-24

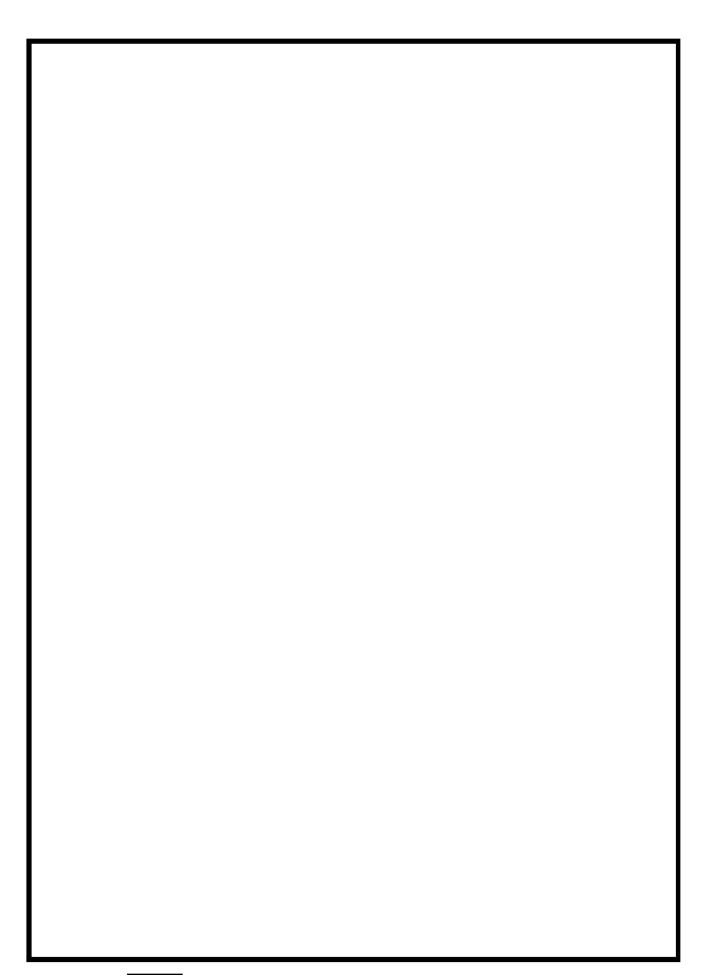
北海道電力株式会社 泊発電所 3号機 第2保全サイクル 定期事業者検査要領書

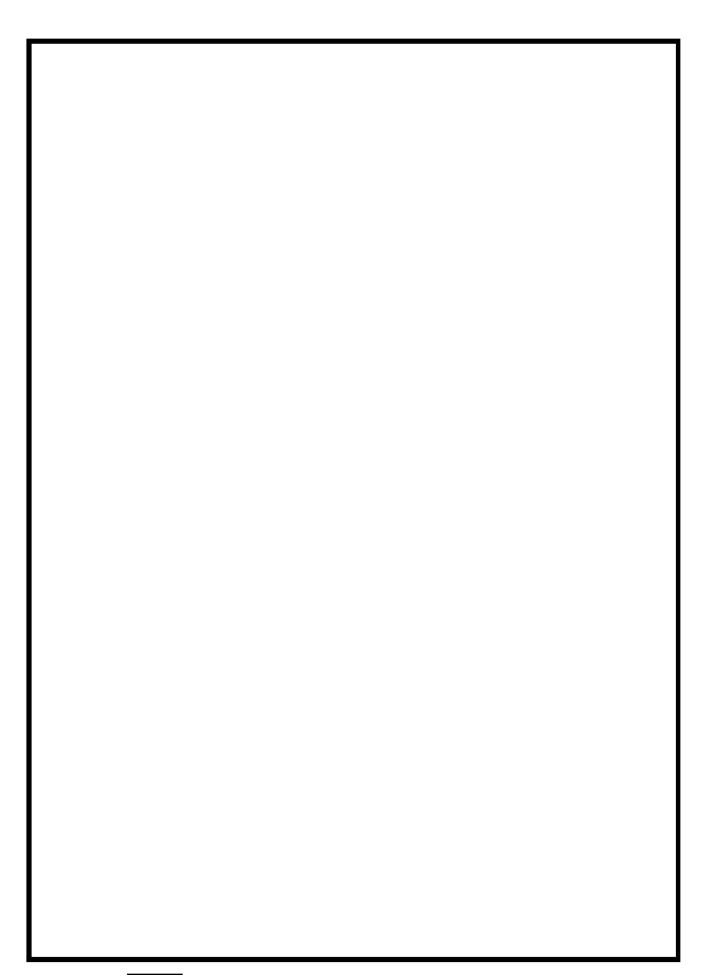
設 備 名:計測制御系統設備 檢 查 名:核計装設備檢查 要領書番号:HT3-105

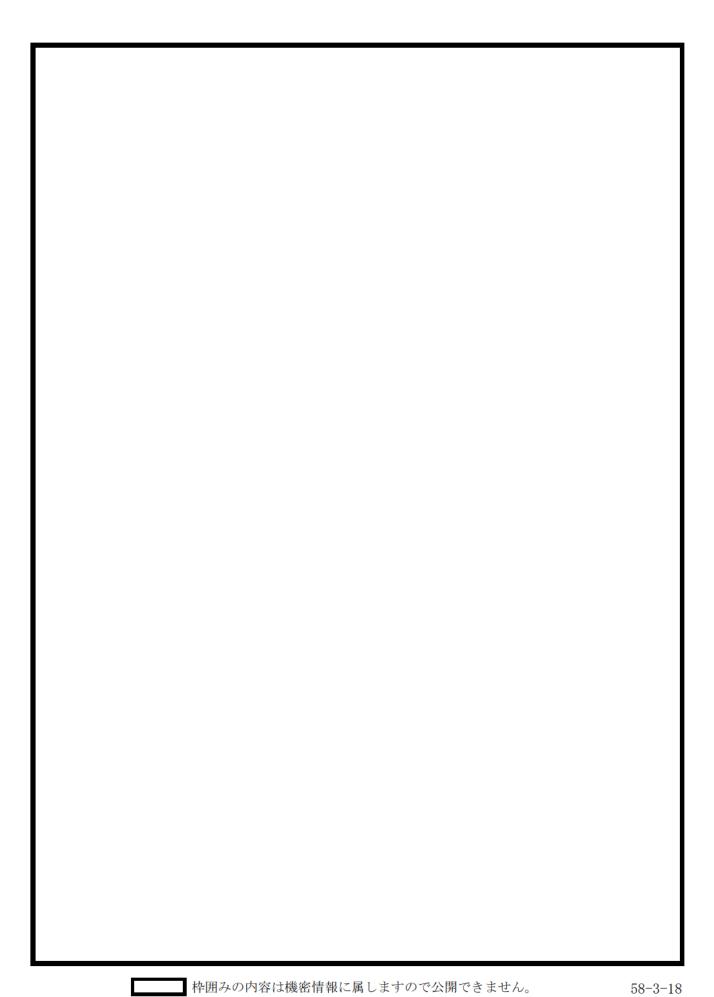


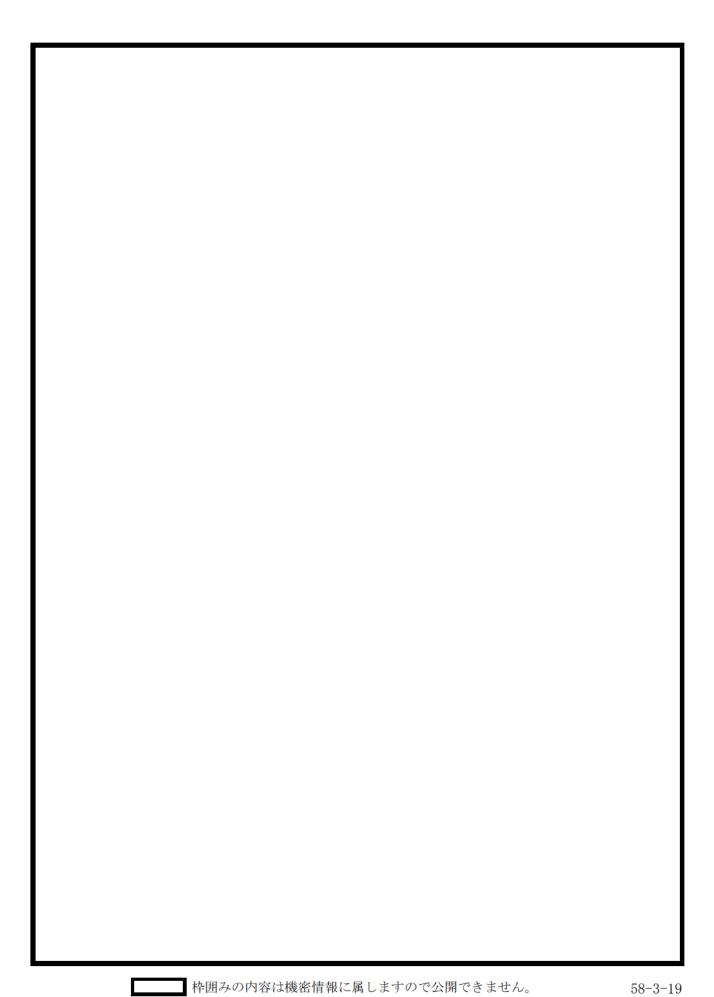


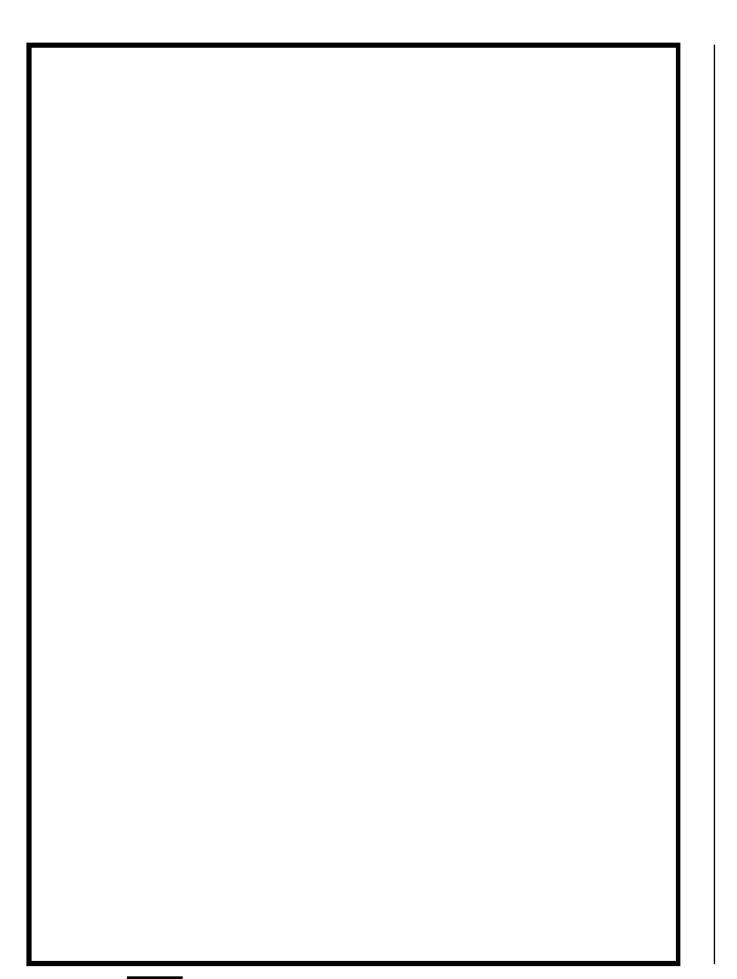


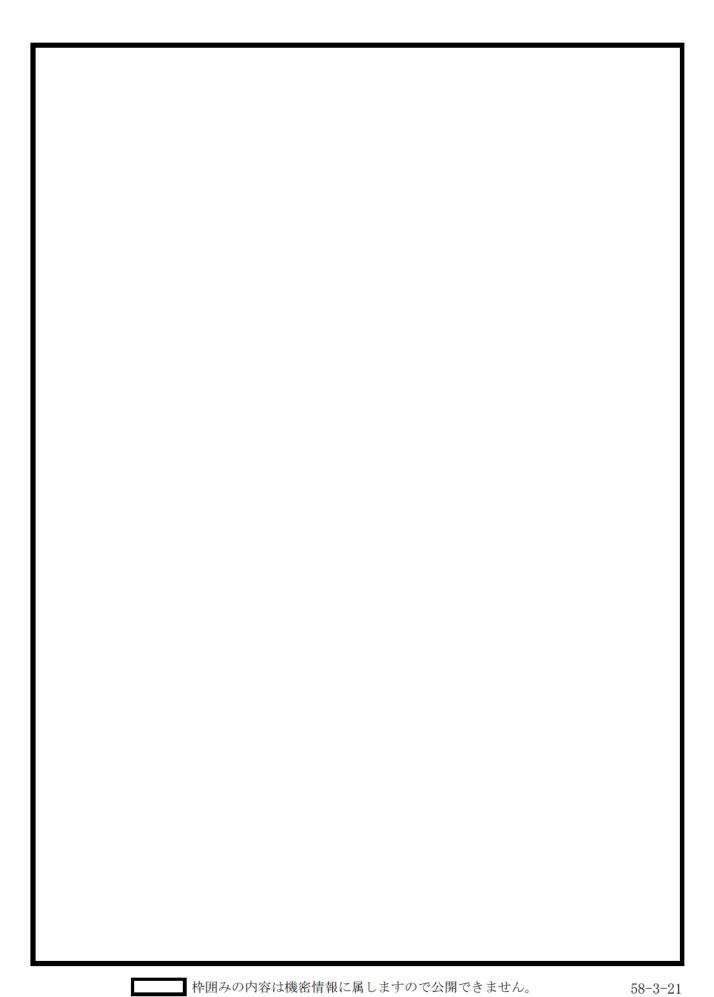


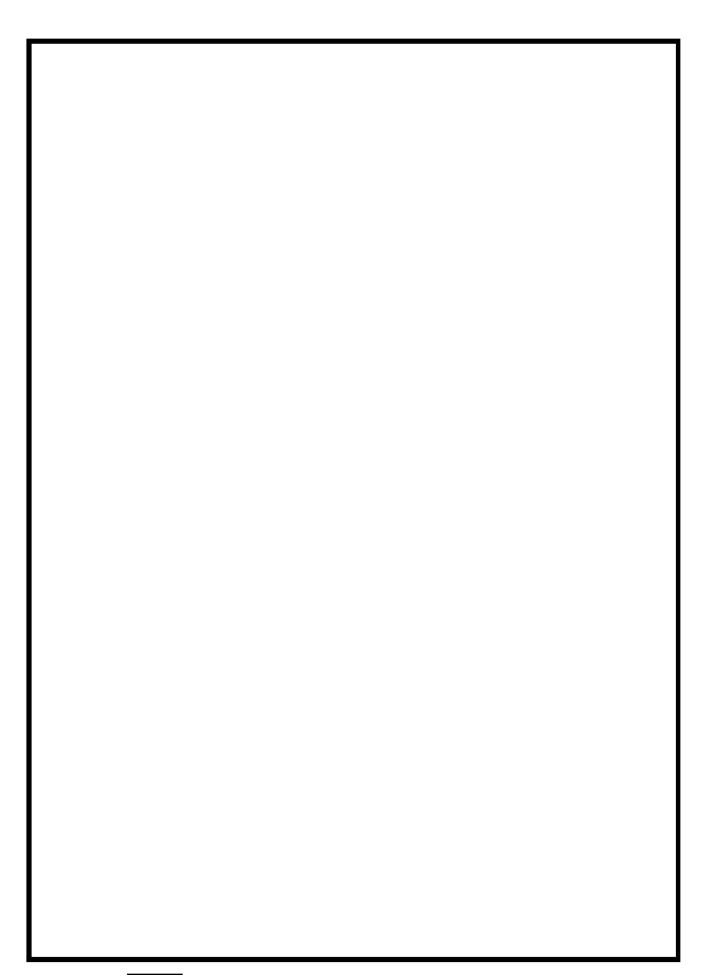


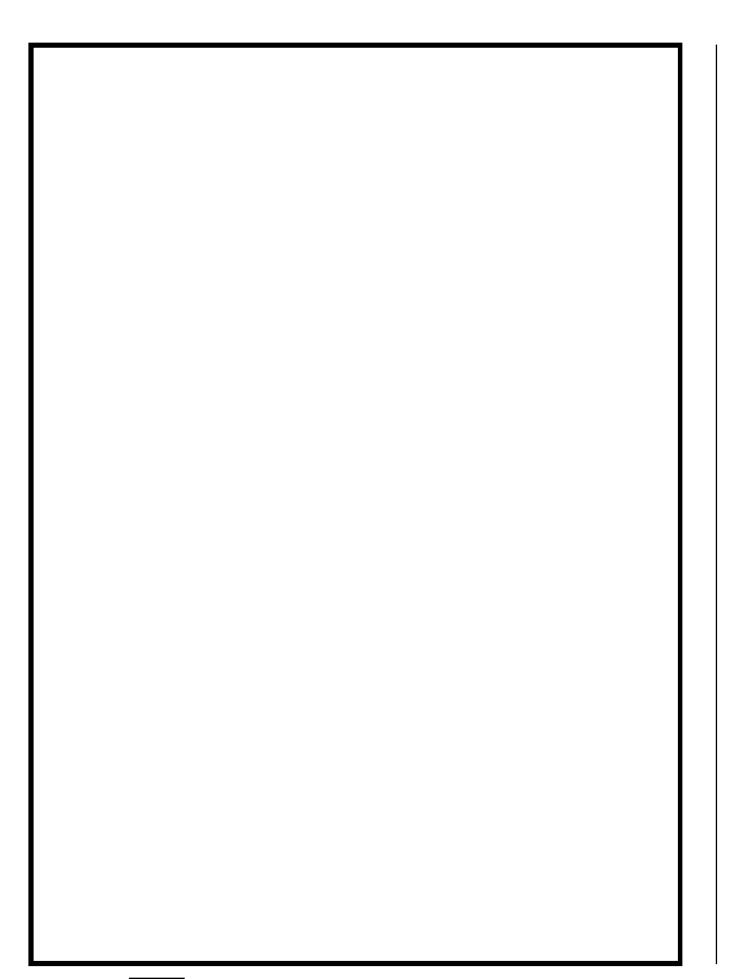


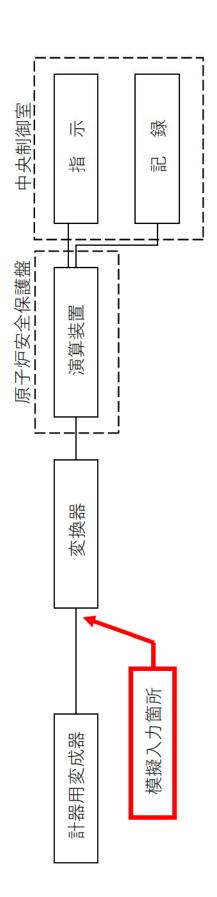




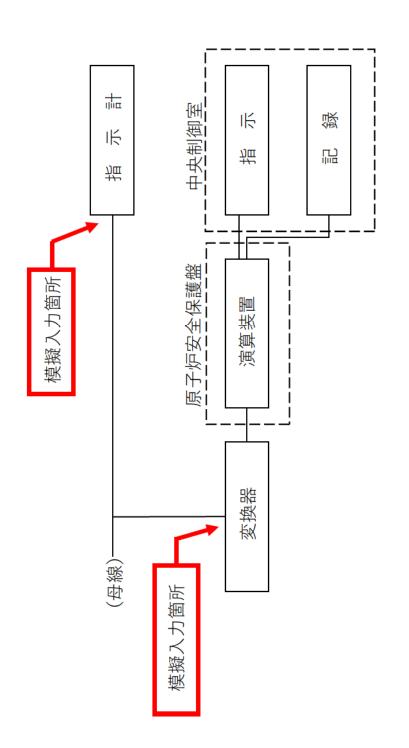




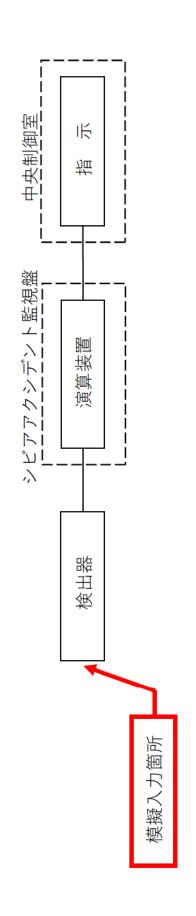




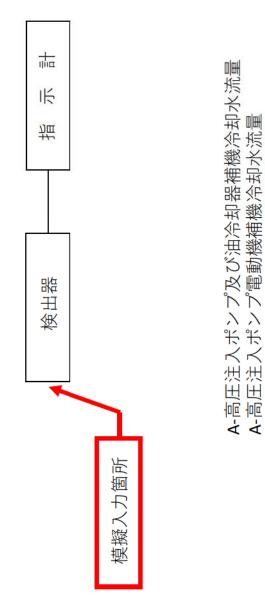
6 - A, B母線電圧

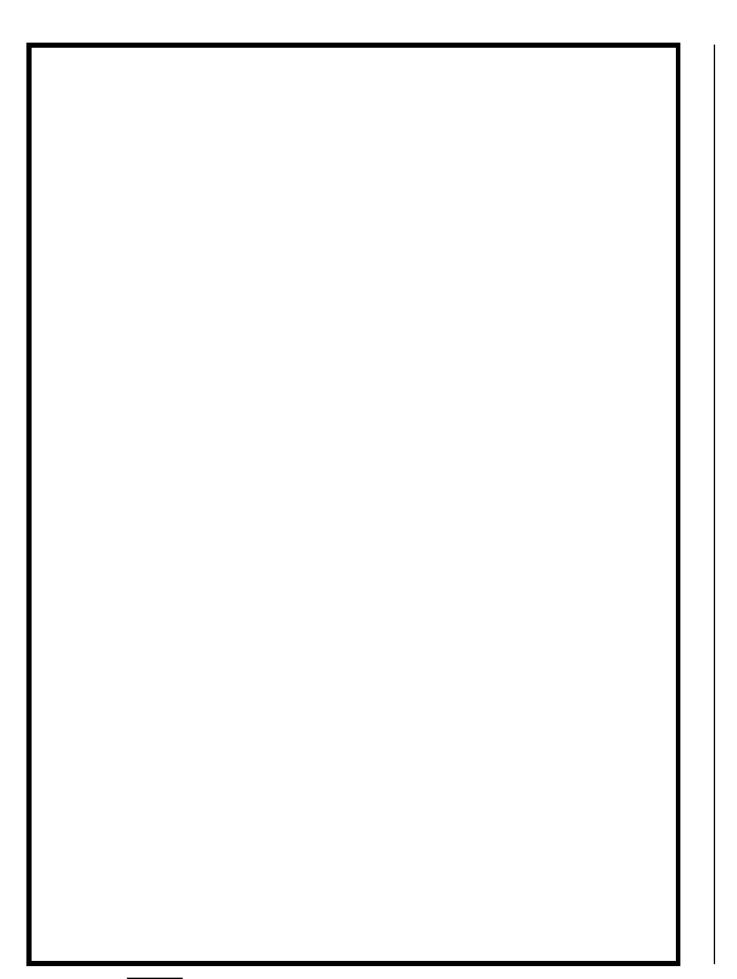


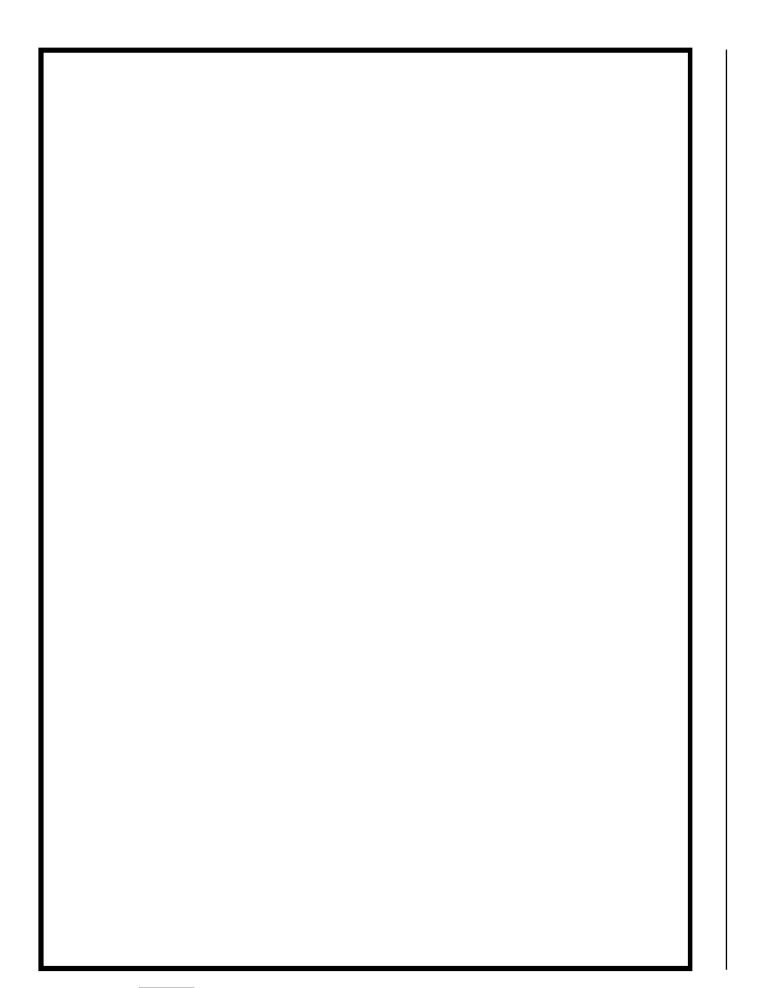
A, B一直流コントロールセンタ母線電圧

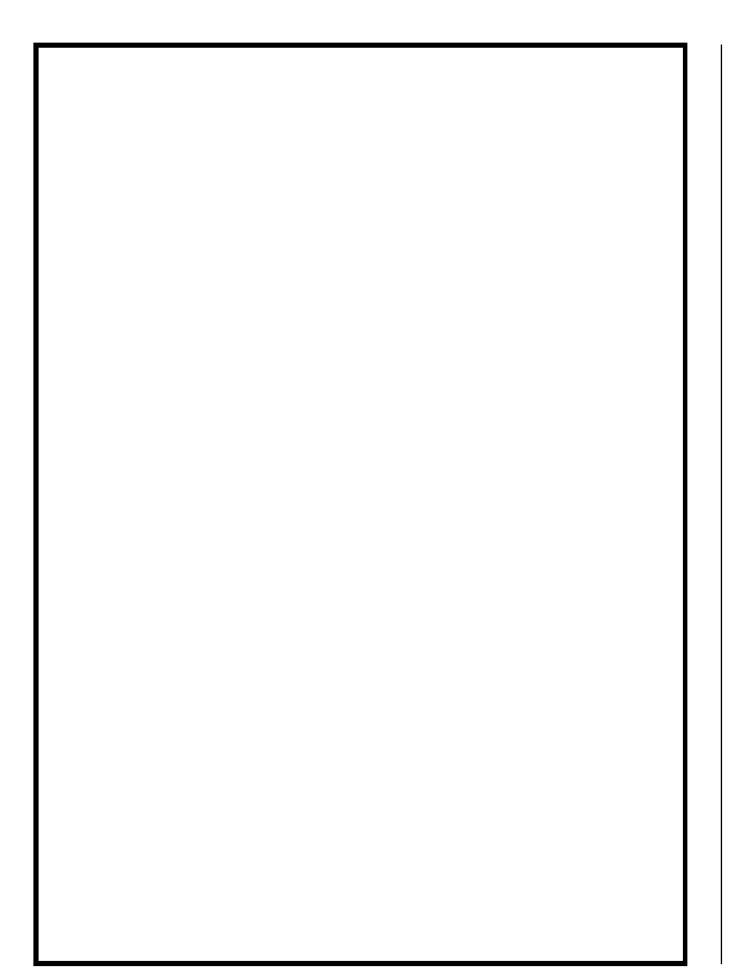


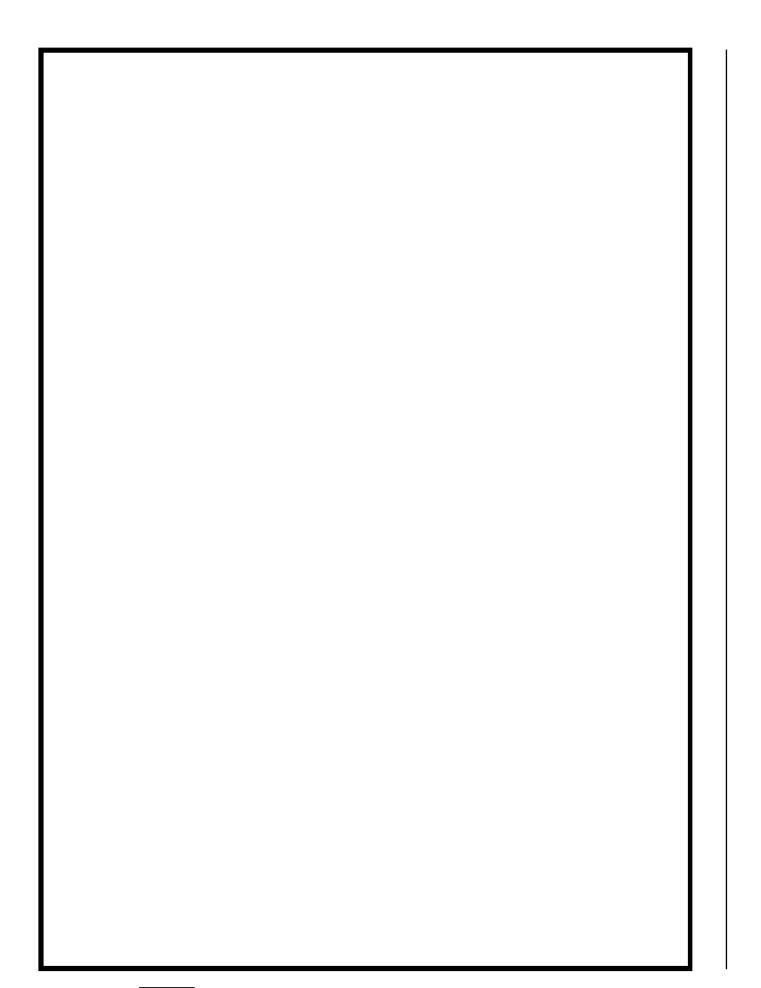
原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 原子炉補機冷却水供給母管流量

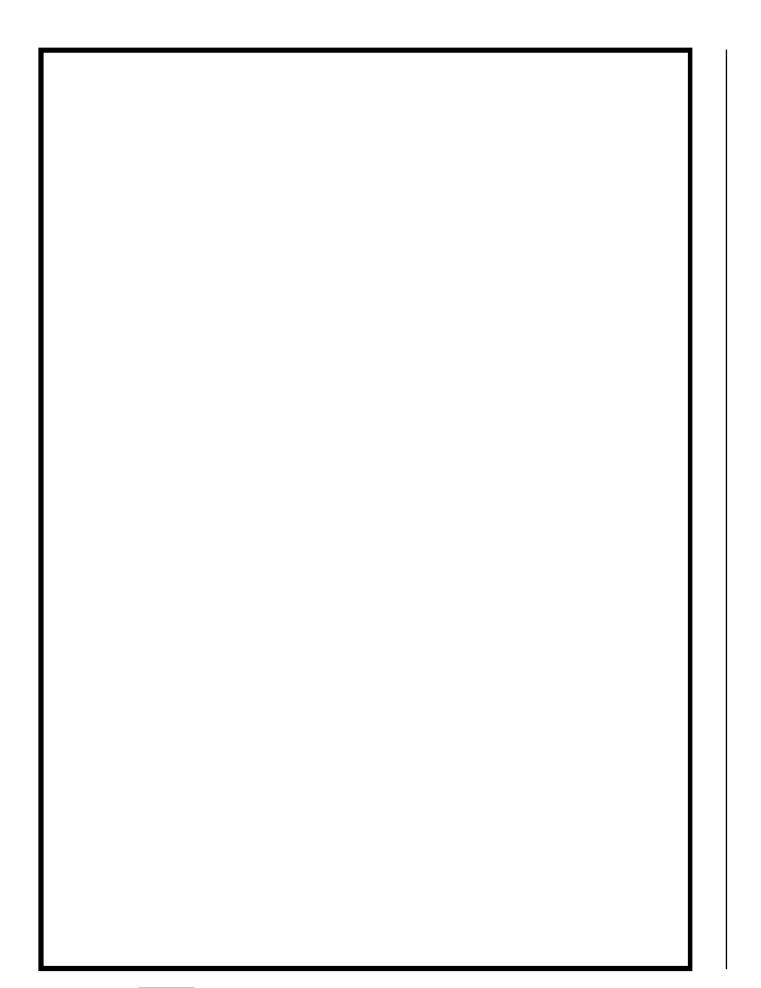


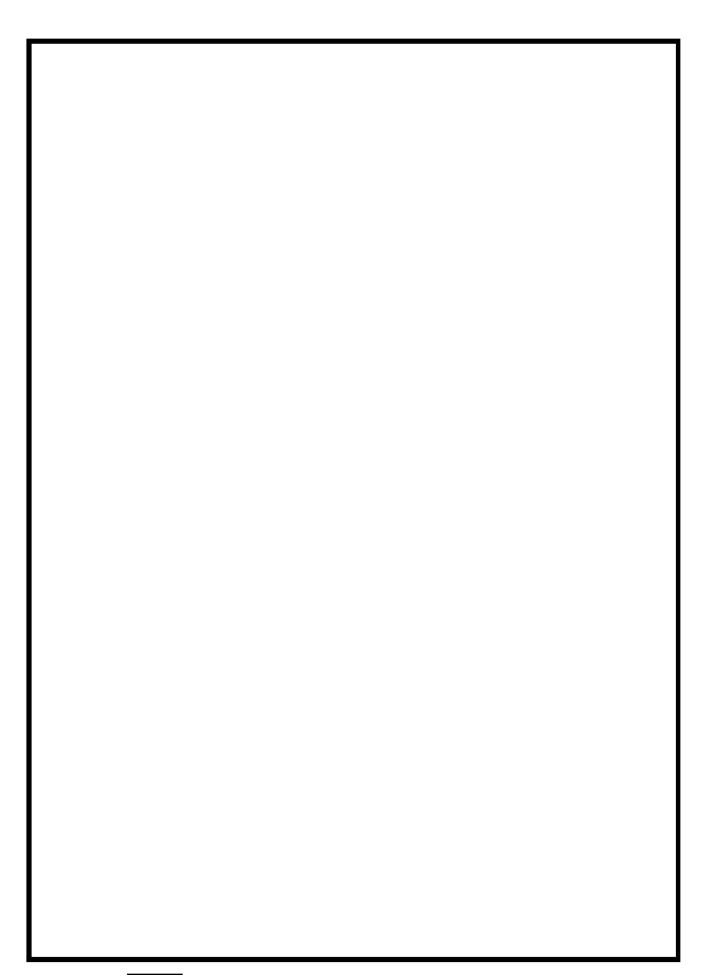


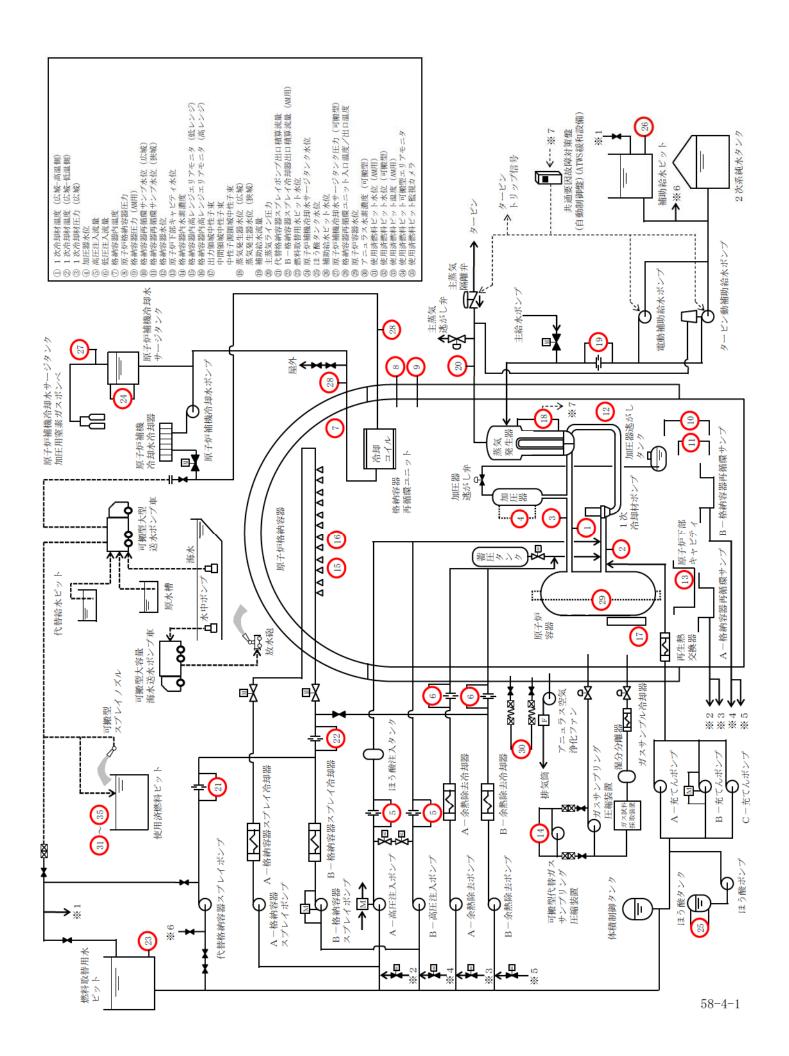














目 次

- 2. 基本方針
 - 2.1 設計基準対象施設に関する計測
 - 2.2 重大事故等対処設備に関する計測
- 3. 計測装置の構成
 - 3.1 計測装置
 - 3.2 計測装置の計測結果の表示, 記録及び保存
- 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
 - 4.1 計測装置の計測範囲
 - 4.2 計測装置の警報動作範囲

※本資料における	については,	防護上の観点又は商業機密を含むため公開できませ
λ_{\circ}		

1. 概要

本資料は、計測制御系統施設の以下の計測装置の構成並びに計測範囲及び警報動作範囲について説明する。

- (1) 中性子源領域中性子東,中間領域中性子東及び出力領域中性子東
- (2) 原子炉容器本体の入口の一次冷却材の圧力,温度又は流量(代替注水の流量を含む。)を 計測する装置
- (3) 加圧器内の水位を計測する装置
- (4) 原子炉格納容器本体内の圧力,温度又は水素ガス濃度を計測する装置
- (5) 蒸気発生器内の水位を計測する装置
- (6) 主蒸気の圧力を計測する装置
- (7) 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置
- (8) 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置
- (9) 放射線管理用計測装置
- (10) その他, 重大事故等の対応に必要な発電用原子炉施設の状態を把握するためのパラメータ を計測する装置

2. 基本方針

通常運転時、運転時の異常な過渡変化時並びに事故時において、プロセス量を計測して、その計測結果を中央制御室において監視する目的で以下に示す計測装置を設置する。また、重大 事故等時において期待されるパラメータに対して、その計測結果を監視する目的で計測装置を 設置する。

- 2.1 中性子源領域中性子東,中間領域中性子東及び出力領域中性子東
 - 本計測装置は、炉心中性子東レベル(中性子源領域、中間領域及び出力領域)を計測して、 その計測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。
- 2.2 原子炉容器本体の入口又は出口の1次冷却材の圧力,温度又は流量(代替注水の流量を含む。)を計測する装置

本計測装置は、1次冷却材圧力(広域)、1次冷却材温度(広域-高温側)、1次冷却材温度(広域-低温側)及び原子炉容器本体への注水流量(低圧注入流量、高圧注入流量、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量)を計測して、その計測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.3 加圧器内の水位を計測する装置

本計測装置は,加圧器水位を計測して,その計測結果を中央制御室において表示,記録装置にて記録する目的で設置する。

2.4 原子炉格納容器本体内の圧力,温度又は水素ガス濃度を計測する装置

本計測装置は、原子炉格納容器圧力、格納容器圧力(AM用)、格納容器内温度及び格納容器内水素濃度を計測して、その計測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.5 蒸気発生器内の水位を計測する装置

本計測装置は、蒸気発生器水位(狭域)及び蒸気発生器水位(広域)を計測して、その計 測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.6 主蒸気の圧力を計測する装置

本計測装置は,主蒸気ライン圧力を計測して,その計測結果を中央制御室における表示, 記録装置にて記録する目的で設置する。

2.7 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置

本計測装置は、低圧注入流量、高圧注入流量、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量を計測して、その計測結果を中央 制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.8 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置

本計測装置は、格納容器再循環サンプ水位(広域)及び格納容器再循環サンプ水位(狭域)を計測して、その計測結果を中央制御室における表示、記録により監視する目的で設置する。

原子炉下部キャビティ水位は、溶融炉心の冷却に必要な水量があることを計測して、その 計測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

格納容器水位は、格納容器内への注入量の制限レベルを計測して、その計測結果を中央制 御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.9 放射線管理用計測装置

本計測装置は、原子炉格納容器内の線量当量率(格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)及び格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ))を計測して、その計測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.10 その他, 重大事故等の対応に必要となるパラメータを計測する装置

本計測装置は、補助給水流量、燃料取替用水ピット水位、原子炉補機冷却水サージタンク水位、ほう酸タンク水位、補助給水ピット水位、アニュラス水素濃度、原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)、格納容器再循環ユニット入口/出口温度、使用済燃料ピット水位(AM用)、使用済燃料ピット水位(可搬型)、使用済燃料ピット温度(AM用)、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラを計測して、その計測結果を中央制御室若しくは現場に表示又は指示し、記録する目的で設置する。

3. 計測装置の構成

重大事故等対処設備に関する計測装置の検出器から計測結果の指示又は表示,記録及び警報装置にいたるシステム構成を設計基準対象施設も含め「3.1 計測装置」に示す。

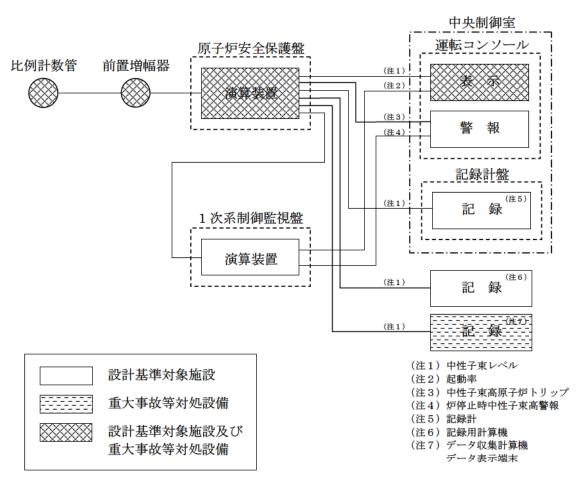
設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の計測装置による計測結果の表示,記録及び保存については,「3.2 計測装置の計測結果の表示,記録及び保存」にとりまとめる。

3.1. 計測装置

- 3.1.1. 中性子源領域中性子束,中間領域中性子束及び出力領域中性子束
 - a. 中性子源領域中性子束

中性子源領域中性子東は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、中性子源領域中性子東の検出信号は、比例計数管からのパルス信号を前置増幅器で増幅し、原子炉安全保護盤内の演算装置にて中性子東レベル信号へ変換する処理を行った後、中性子東レベルを中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第1図「中性子源領域中性子束の概略構成図」参照。)

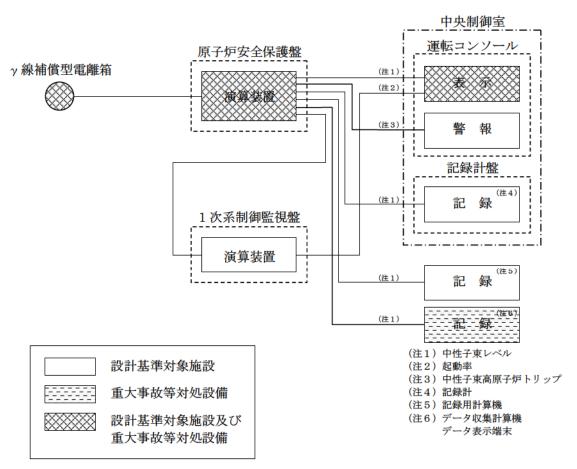


第1図 中性子源領域中性子束の概略構成図

b. 中間領域中性子束

中間領域中性子東は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、中間領域中性子東の検出信号は、γ線補償型電離箱からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて中性子東レベル信号へ変換する処理を行った後、中性子東レベルを中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第2図「中間領域中性子束の概略構成図」参照。)

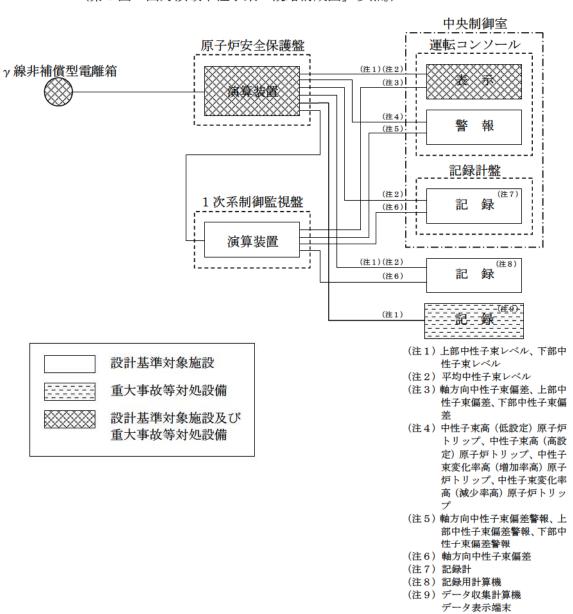


第2図 中間領域中性子束の概略構成図

c. 出力領域中性子束

出力領域中性子東は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有して おり、出力領域中性子東の検出信号は、γ線非補償型電離箱からの電流信号を原子 炉安全保護盤内の演算装置にて中性子東レベル信号へ変換する処理を行った後、中 性子東レベルを中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、 「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第3図「出力領域中性子束の概略構成図」参照。)

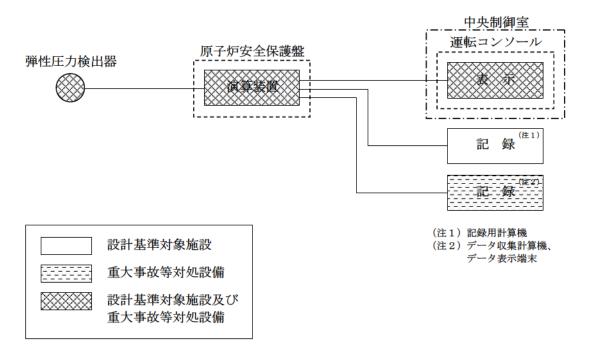


第3図 出力領域中性子束の概略構成図

- 3.1.2. 原子炉容器本体の入口又は出口の1次冷却材の圧力,温度又は流量(代替注水の流量を含む)を計測する装置
 - a. 1 次冷却材圧力(広域)

1次冷却材圧力(広域)は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、1次冷却材圧力(広域)の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、1次冷却材圧力(広域)を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第4図「1次冷却材圧力(広域)の概略構成図」参照。)

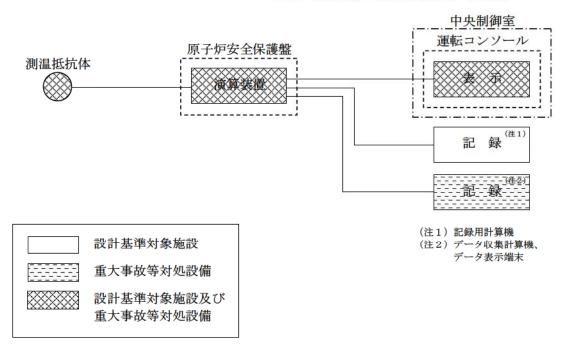


第4図 1次冷却材圧力(広域)の概略構成図

b. 1次冷却材温度(広域-高温側)

1次冷却材温度(広域-高温側)は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、1次冷却材温度(広域-高温側)の検出信号は、測温抵抗体の抵抗値を、原子炉安全保護盤内の演算装置にて温度信号へ変換する処理を行った後、1次冷却材温度(広域-高温側)を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第5図「1次冷却材温度(広域-高温側)の概略構成図」参照。)

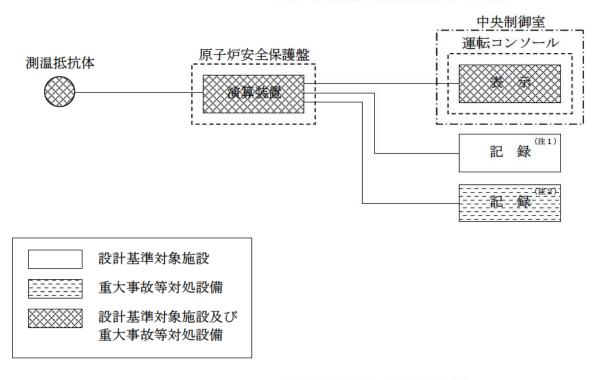


第5図 1次冷却材温度(広域-高温側)の概略構成図

c. 1次冷却材温度(広域-低温側)

1次冷却材温度(広域-低温側)は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、1次冷却材温度(広域-低温側)の検出信号は、測温抵抗体の抵抗値を、原子炉安全保護盤内の演算装置にて温度信号へ変換する処理を行った後、1次冷却材温度(広域-低温側)を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第6図「1次冷却材温度(広域-低温側)の概略構成図」参照。)

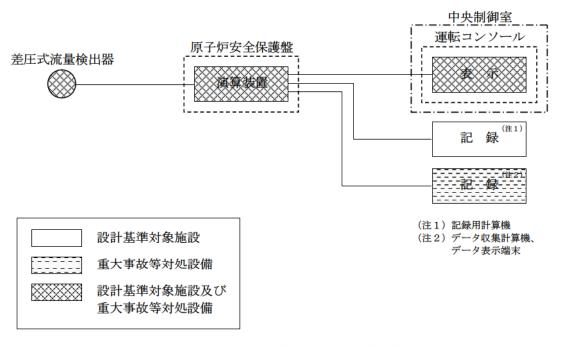


第6図 1次冷却材温度(広域-低温側)の概略構成図

d. 高圧注入流量

高圧注入流量は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、 高圧注入流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、原子炉安全保護 盤内の演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、高圧注入流量を中央制御 室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測 結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第7図「高圧注入流量の概略構成図」参照。)

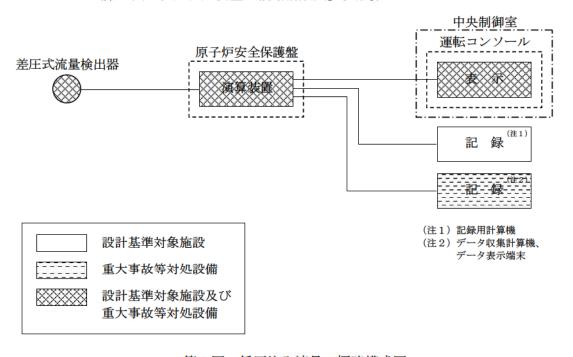


第7図 高圧注入流量の概略構成図

e. 低圧注入流量

低圧注入流量は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、 低圧注入流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、原子炉安全保護 盤内の演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、低圧注入流量を中央制御 室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測 結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第8図「低圧注入流量の概略構成図」参照。)

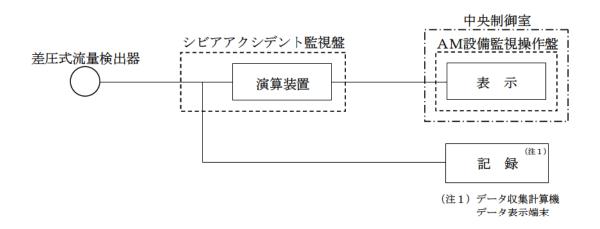


第8図 低圧注入流量の概略構成図

f. 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量

代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量は、重大事故等対処設備の機能を有しており、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、シビアアクシデント監視盤内の演算装置にて流量信号及び積算流量信号へ変換する処理を行った後、代替格納容器スプレイポンプ出口流量及び積算流量を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第9図「代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の概略構成図」参照。)



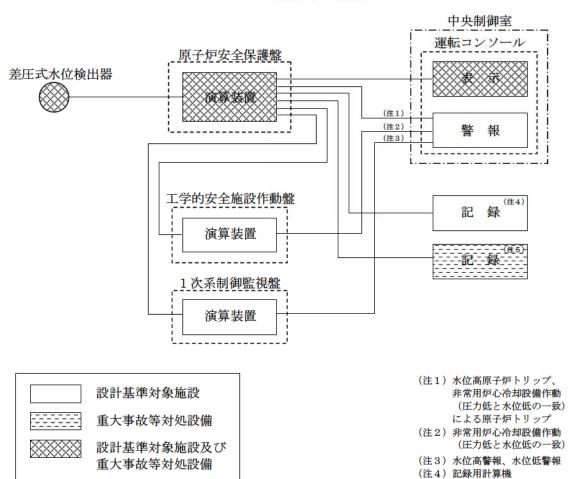
第9図 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の概略構成図

3.1.3. 加圧器内の水位を計測する装置

a. 加圧器水位

加圧器水位は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、 加圧器水位の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内 の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、加圧器水位を中央制御室に表 示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の 表示、記録及び保存」に示す。

(第10図「加圧器水位の概略構成図」参照。)



第10図 加圧器水位の概略構成図

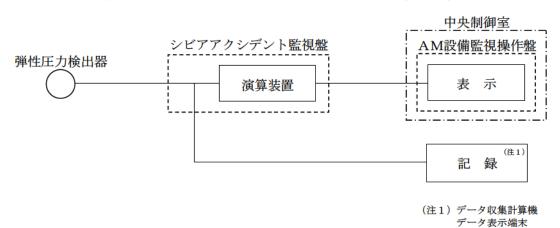
(注5) データ収集計算機 データ表示端末

3.1.4. 原子炉格納容器本体内の圧力及び温度を計測する装置

a. 格納容器圧力(AM用)

格納容器圧力(AM用)は、重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器 圧力(AM用)の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号をシビアアクシデン ト監視盤内の演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、格納容器圧力(A M用)を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 11 図「格納容器圧力(AM用)の概略構成図」参照。)

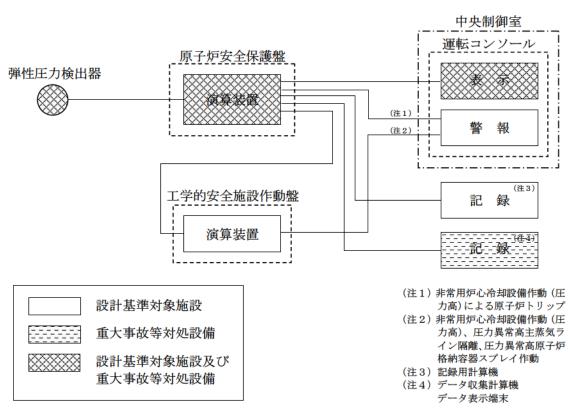


第11図 格納容器圧力 (AM用) の概略構成図

b. 原子炉格納容器圧力

原子炉格納容器圧力は,設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており,原子炉格納容器圧力の検出信号は,弾性圧力検出器からの電流信号を,原子炉安全保護盤内の演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後,原子炉格納容器圧力を中央制御室に表示し,記録及び保存する。記録及び保存については,「3.2計測装置の計測結果の表示,記録及び保存」に示す。

(第12図「原子炉格納容器圧力の概略構成図」参照。)

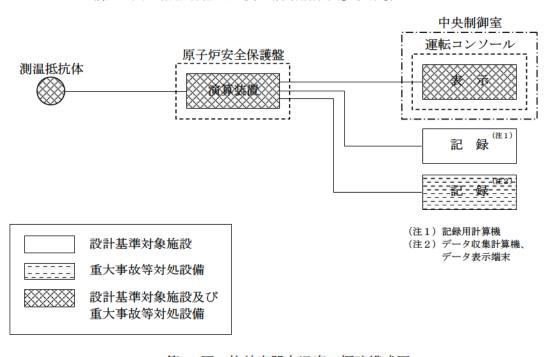


第12図 原子炉格納容器圧力の概略構成図

c. 格納容器内温度

格納容器内温度は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器内温度の検出信号は、測温抵抗体の抵抗値を、原子炉安全保護盤内の演算装置にて温度信号へ変換する処理を行った後、格納容器内温度を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第13図「格納容器内温度の概略構成図」参照。)

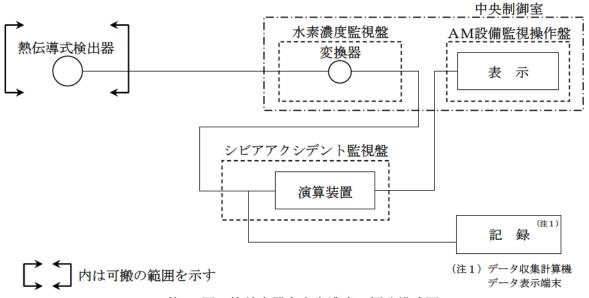


第13図 格納容器内温度の概略構成図

d. 格納容器内水素濃度

格納容器内水素濃度は,重大事故等対処設備の機能を有しており,格納容器内水 素濃度の検出信号は,重大事故等時に試料採取設備に設置できるように可搬型とす る。熱伝導式検出器からの電圧信号を変換器にて電流信号に変換し,シビアアクシ デント監視盤内の演算装置にて水素濃度信号へ変換する処理を行った後,中央制御 室に表示し,記録及び保存する。記録及び保存については,「3.2 計測装置の計測 結果の表示,記録及び保存」に示す。

(第14図「格納容器内水素濃度の概略構成図」参照。)



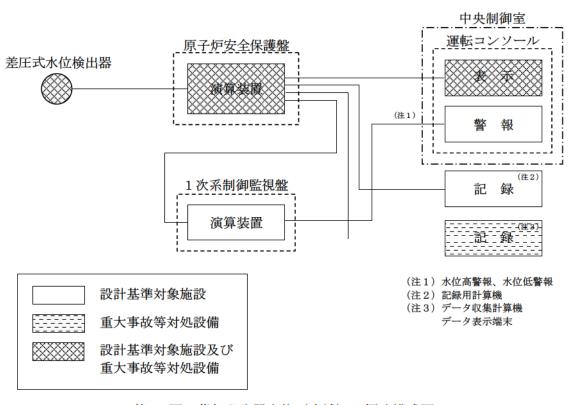
第14図 格納容器内水素濃度の概略構成図

3.1.5. 蒸気発生器内の水位を計測する装置

a. 蒸気発生器水位(広域)

蒸気発生器水位(広域)は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、蒸気発生器水位(広域)の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、蒸気発生器水位(広域)を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 15 図「蒸気発生器水位(広域)の概略構成図」参照。)

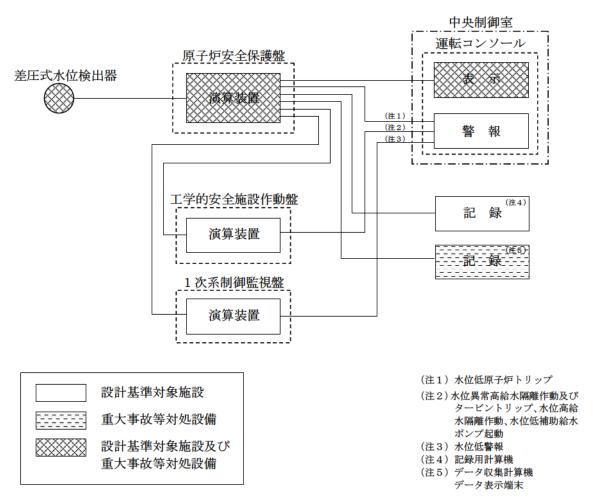


第15図 蒸気発生器水位(広域)の概略構成図

b. 蒸気発生器水位(狭域)

蒸気発生器水位(狭域)は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、蒸気発生器水位(狭域)の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、蒸気発生器水位(狭域)を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第16図「蒸気発生器水位(狭域)の概略構成図」参照。)



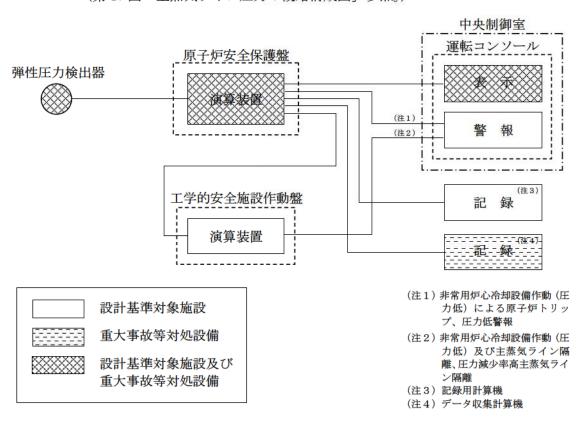
第16図 蒸気発生器水位(狭域)の概略構成図

3.1.6. 主蒸気の圧力を計測する装置

a. 主蒸気ライン圧力

主蒸気ライン圧力の検出信号は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、弾性圧力検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、主蒸気ライン圧力を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第17図「主蒸気ライン圧力の概略構成図」参照。)



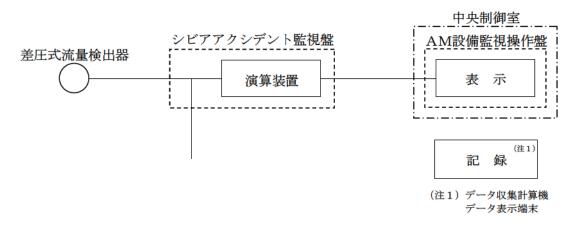
第17図 主蒸気ライン圧力の概略構成図

3.1.7. 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置

a. B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)

B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)は、重大事故等対処設備の機能を有しており、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号をシビアアクシデント監視盤内の演算装置にて演算装置にて流量信号及び積算流量信号へ変換する処理を行った後、B-格納容器スプレイ冷却器出口流量(AM用)及び積算流量(AM用)を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 18 図「B - 格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)の概略構成図」 参照。)



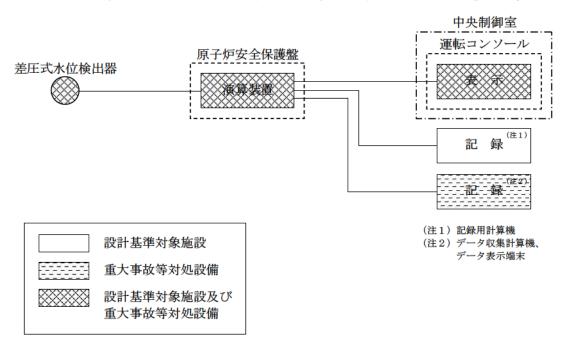
第18図 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)の概略構成図

3.1.8. 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置

a. 格納容器再循環サンプ水位(広域)

格納容器再循環サンプ水位(広域)は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器再循環サンプ水位(広域)の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、格納容器再循環サンプ水位(広域)を中央制御室に表示、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第19図「格納容器再循環サンプ水位(広域)の概略構成図」参照。)

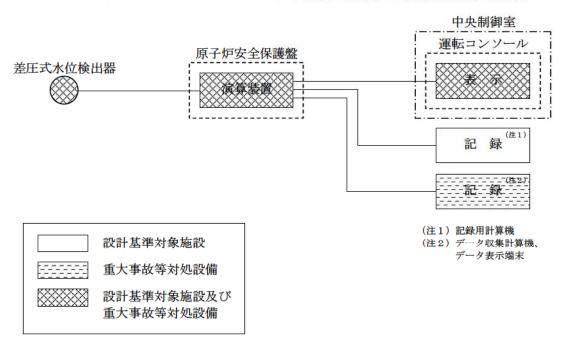


第19図 格納容器再循環サンプ水位(広域)の概略構成図

b. 格納容器再循環サンプ水位 (狭域)

格納容器再循環サンプ水位(狭域)は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器再循環サンプ水位(狭域)の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、格納容器再循環サンプ水位(狭域)を中央制御室に表示、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第20図「格納容器再循環サンプ水位(狭域)の概略構成図」参照。)

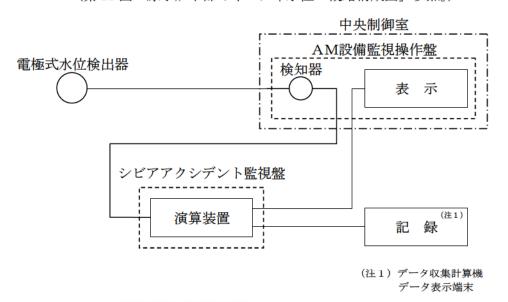


第20図 格納容器再循環サンプ水位(狭域)の概略構成図

c. 原子炉下部キャビティ水位

原子炉下部キャビティ水位は、重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉下部キャビティ水位の検出信号は、電極式水位検出器からの水位状態(ON-OFF)を中央制御室に表示した後、シビアアクシデント監視盤の演算装置を経由し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第21図「原子炉下部キャビティ水位の概略構成図」参照。)

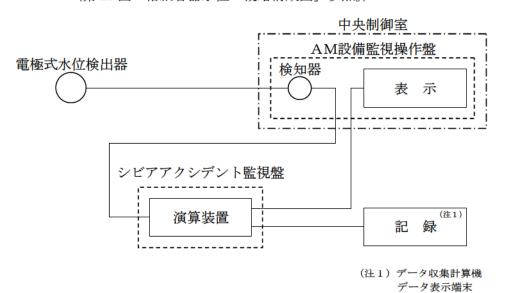


第21図 原子炉下部キャビティ水位の概略構成図

d. 格納容器水位

格納容器水位は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、 格納容器水位の検出信号は、電極式水位検出器からの水位状態(ON-OFF)を中央制 御室に表示した後、シビアアクシデント監視盤の演算装置を経由し、記録及び保存 する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」 に示す。

(第22図「格納容器水位の概略構成図」参照。)



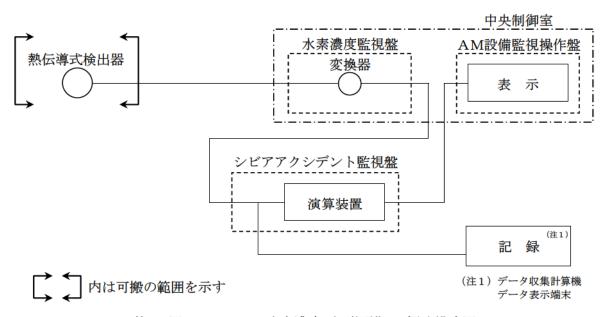
第22図 格納容器水位の概略構成図

3.1.9. 二次格納施設内の水素ガス濃度を計測する装置

a. アニュラス水素濃度 (可搬型)

アニュラス水素濃度(可搬型)は、重大事故等対処設備の機能を有しており、アニュラス水素濃度(可搬型)の検出信号は、重大事故等時に試料採取設備に設置できるように可搬型とする。熱伝導式検出器からの電圧信号を、変換器にて電流信号に変換し、シビアアクシデント監視盤内の演算装置にて水素濃度信号へ変換する処理を行った後、中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第23図「アニュラス水素濃度(可搬型)の概略構成図」参照。)



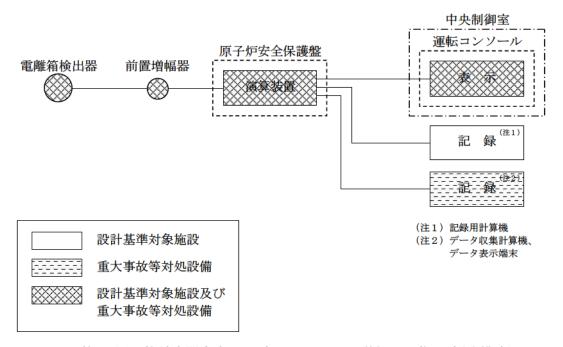
第23図 アニュラス水素濃度(可搬型)の概略構成図

3.1.10. 放射線管理用計測装置

a. 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)

格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉格納容器内の線量当量率を電離箱を用いて電流信号として検出する。検出した電流信号を前置増幅器で増幅し、原子炉安全保護盤内の演算装置にて線量当量率信号へ変換する処理を行った後、線量当量率を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第24図「格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)の概略構成図」参照。)

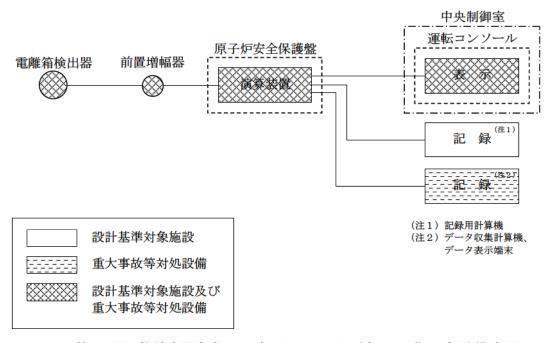


第24図 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)の概略構成図

b. 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)

格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉格納容器内の線量当量率を電離箱を用いて電流信号として検出する。検出した電流信号を前置増幅器で増幅し、原子炉安全保護盤内の演算装置にて線量当量率信号へ変換する処理を行った後、線量当量率を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第25図「格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)の概略構成図」参照。)



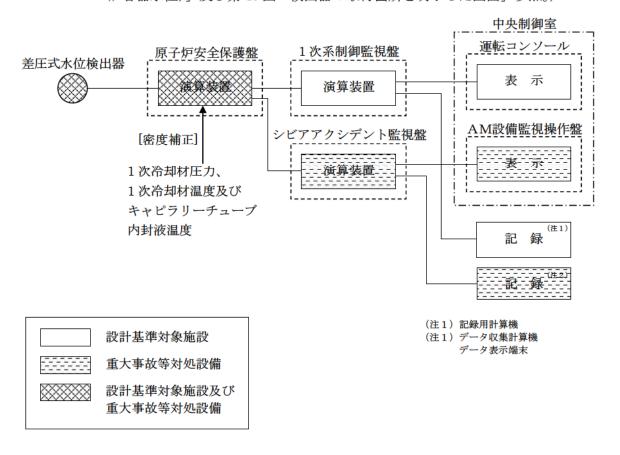
第25図 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) の概略構成図

3.1.11. その他, 重大事故等の対応に必要な発電用原子炉施設の状態を把握するためのパラメータを計測視する装置

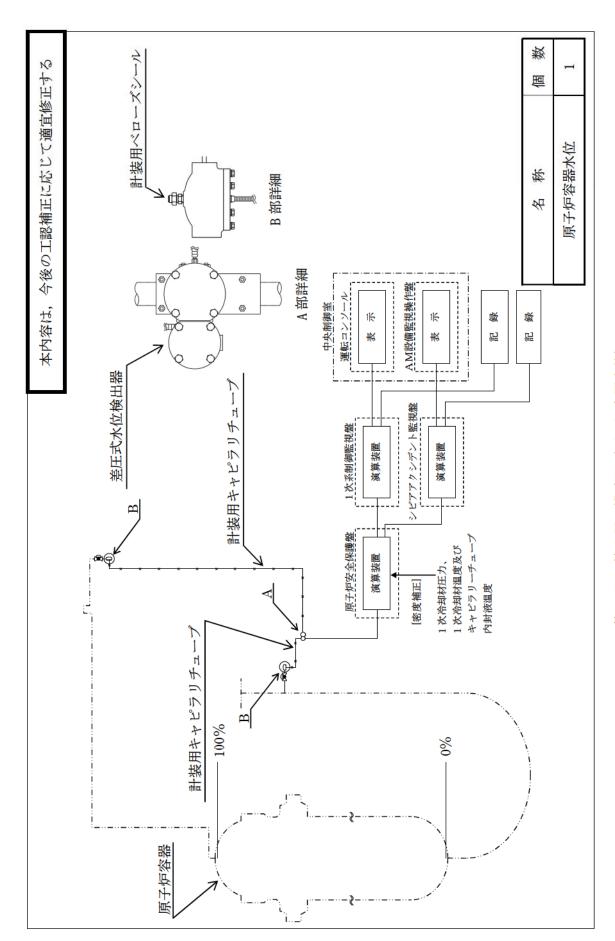
b. 原子炉容器水位

原子炉容器水位は,設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有して おり,原子炉容器水位の検出信号は,差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉 安全保護盤を経由してシビアアクシデント監視盤に入力し,演算装置にて水位信 号へ変換する処置を行った後,原子炉容器水位を中央制御室に表示し,記録及び 保存する。記録及び保存については,「3.2 計測装置の計測結果の表示,記録及 び保存」に示す。

(第 26 図「原子炉容器水位の概略構成図」,第 27 図「検出器の構造図(原子炉容器水位)」及び第 46 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。)



第26図 原子炉容器水位の概略構成図

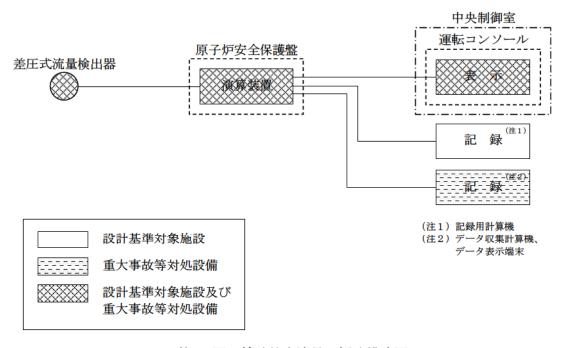


第27図 検出器の構造図 (原子炉容器水位)

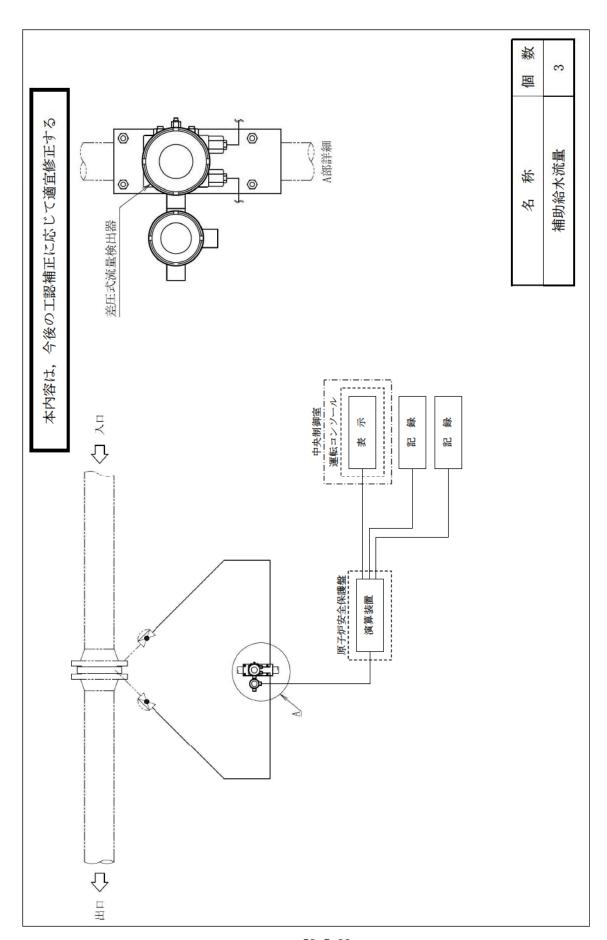
c. 補助給水流量

補助給水流量は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、補助給水流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、補助給水流量を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 28 図「補助給水流量の概略構成図」,第 29 図「検出器の構造図(補助給水流量)」及び第 45 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。)



第28図 補助給水流量の概略構成図

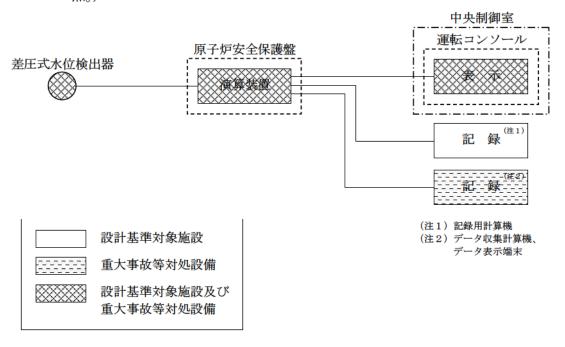


58-5-33

d. 燃料取替用水ピット水位

燃料取替用水ピット水位は,設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を 有しており,燃料取替用水ピット水位の検出信号は,差圧式水位検出器からの電流 信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後,燃 料取替用水ピット水位を中央制御室に表示し,記録及び保存する。記録及び保存に ついては,「3.2 計測装置の計測結果の表示,記録及び保存」に示す。

(第 30 図「燃料取替用水ピット水位の概略構成図」,第 31 図「検出器の構造図 (燃料取替用水ピット水位)」及び第 47 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参 照。)



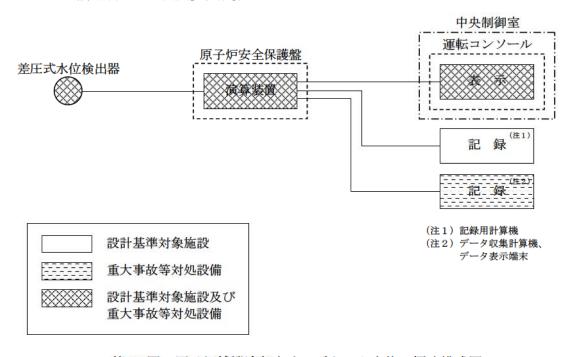
第30図 燃料取替用水ピット水位の概略構成図

第 31 図 検出器の構造図 (燃料取替用水ピット水位)

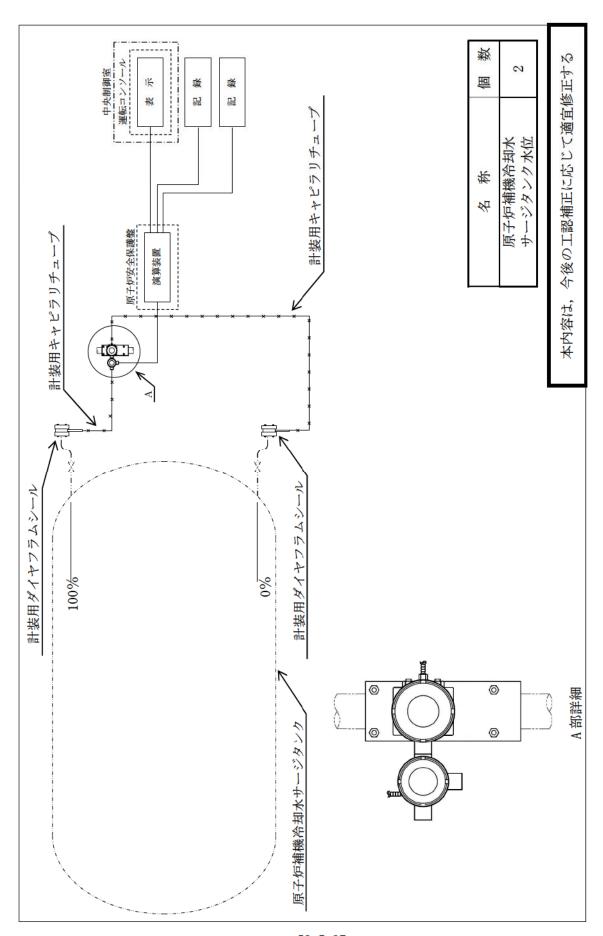
e. 原子炉補機冷却水サージタンク水位

原子炉補機冷却水サージタンク水位は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉補機冷却水サージタンク水位の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、原子炉補機冷却水サージタンク水位を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 32 図「原子炉補機冷却水サージタンク水位の概略構成図」, 第 33 図「検出器の構造図(原子炉補機冷却水サージタンク水位)」及び第 50 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。)



第32図 原子炉補機冷却水サージタンク水位の概略構成図

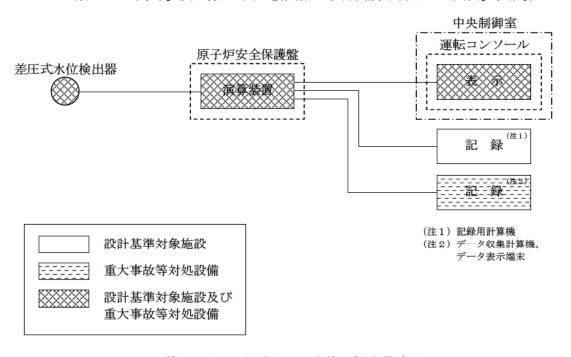


第33図 検出器の構造図 (原子炉補機冷却水サージタンク水位)

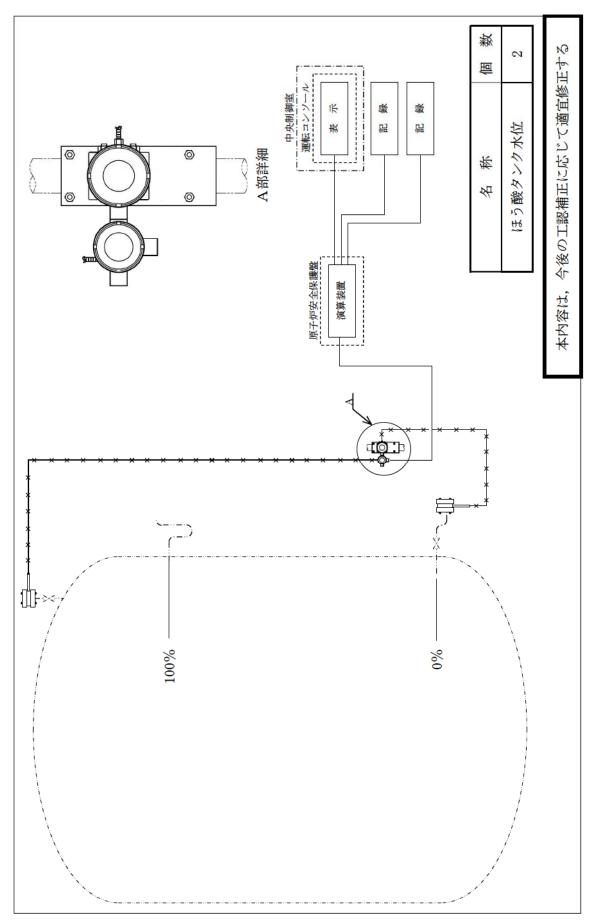
f. ほう酸タンク水位

ほう酸タンク水位は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有して おり、ほう酸タンク水位の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉 安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、ほう酸タンク水 位を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計 測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 34 図「ほう酸タンク水位の概略構成図」,第 35 図「検出器の構造図(ほう酸タンク水位)」及び第 46 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。)



第34図 ほう酸タンク水位の概略構成図

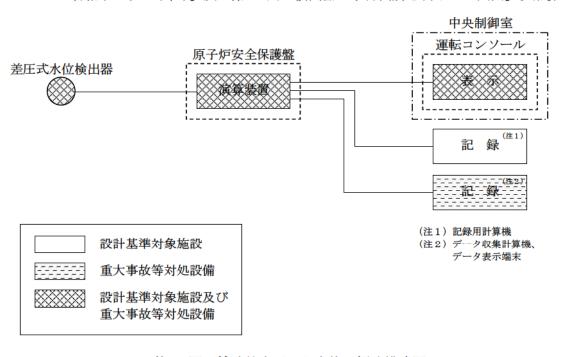


第35図 検出器の構造図(ほう酸タンク水位)

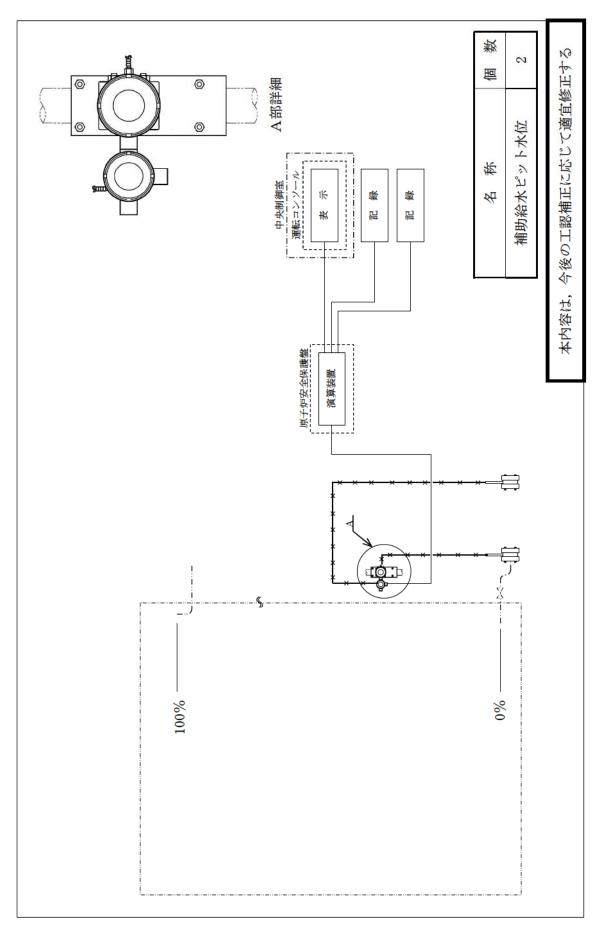
g. 補助給水ピット水位

補助給水ピット水位は,設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており,補助給水ピット水位の検出信号は,差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後,補助給水ピット水位を中央制御室に表示し,記録及び保存する。記録及び保存については,「3.2計測装置の計測結果の表示,記録及び保存」に示す。

(第 36 図「補助給水ピット水位の概略構成図」,第 37 図「検出器の構造図(補助給水ピット水位)」及び第 47 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。)



第36図 補助給水ピット水位の概略構成図

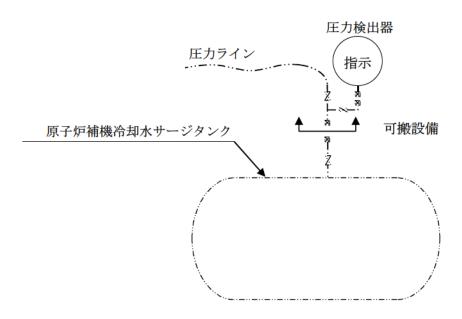


第37図 検出器の構造図(補助給水ピット水位)

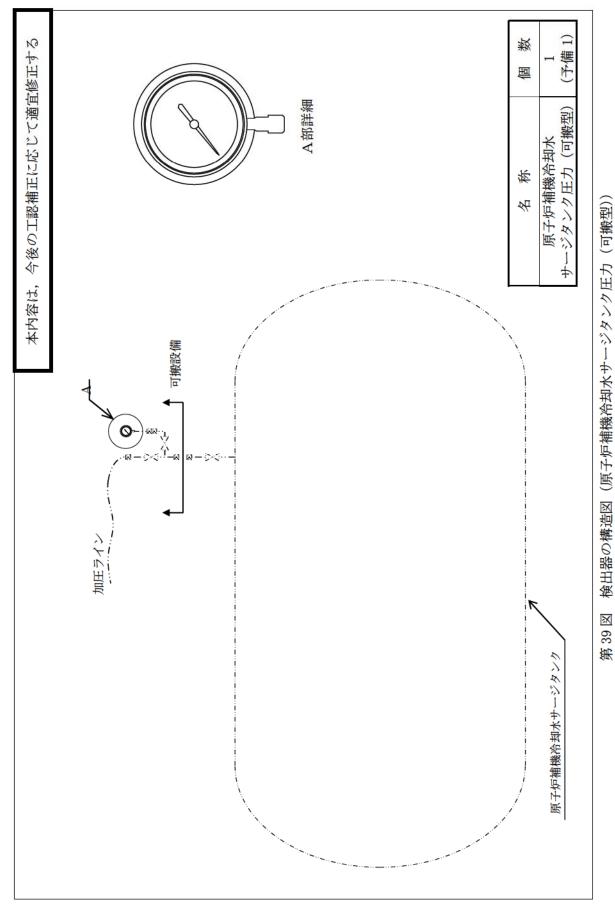
h. 原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)

原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型),重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉補機冷却水サージタンクの圧力を原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)により指示する。測定結果は従事者が記録用紙にて記録し、保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第38図「原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)の概略構成図」,第39図「検出器の構造図(原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)」,第50,51図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。)



第38図 原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)の概略構成図

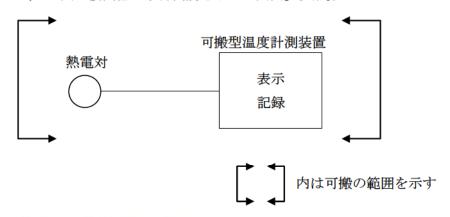


58-5-43

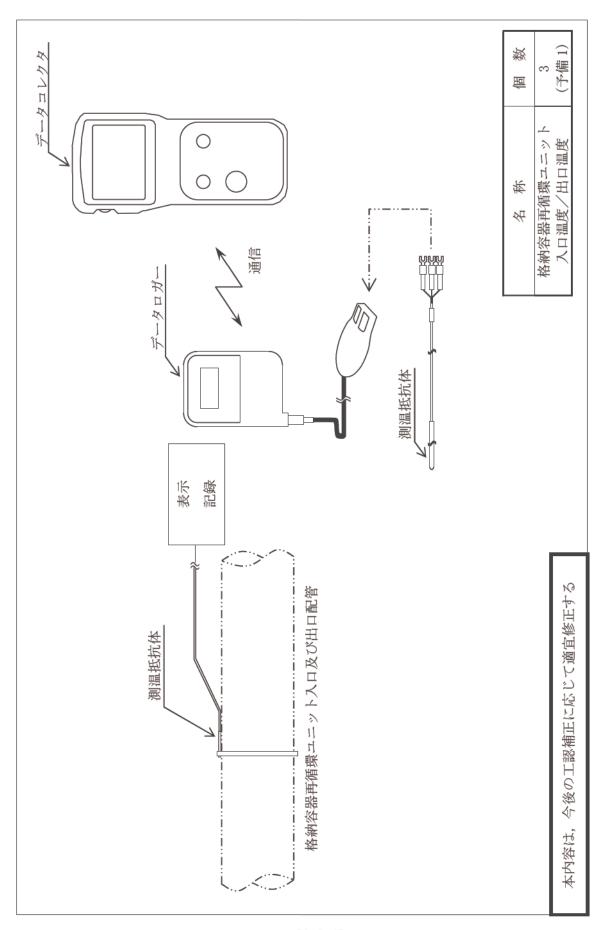
i. 格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度

格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器再循環ユニット出入口の冷却水配管に設置した熱電対の起電力を可搬型温度計測装置にて温度に変換して表示し、記録する。記録した温度を用いて出入口配管を流れる冷却水の温度差を求めることにより、格納容器再循環ユニットの動作状態を確認する。記録は、データ収集周期1分で10日間以上電磁的に記録し、保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 40 図「格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の概略構成図」,第 41 図「検出器の構造図(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)」及び第 45,46,51 図「検出器の取付箇所を示した図面」参照。)



第40図 格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度の概略構成図



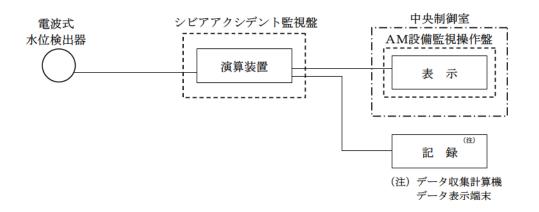
第41図 検出器の構造図(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)

i. 使用済燃料ピット水位計 (AM用)

計測目的は,重大事故等により変動する可能性のある範囲のうち,燃料貯蔵ラック上端近傍から使用済燃料ピット上端近傍までの水位監視である。

使用済燃料ピット水位(AM用)の検出信号は、電波式水位検出器からの電流信号を、シビアアクシデント監視盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、使用済燃料ピット水位(AM用)を中央制御室にて表示し、記録装置にて記録する。

(「第42図 使用済燃料ピット水位 (AM用)の概略構成図」参照)



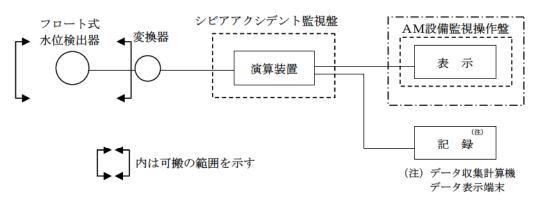
第42図 使用済燃料ピット水位 (AM用)の概略構成図

k. 使用済燃料ピット水位計(可搬型)

計測目的は、設置許可基準第54条第2項に要求されている使用済燃料貯蔵槽からの大量の水の漏えいその他要因により当該使用済燃料貯蔵槽内の水位が異常に低下する場合においても、変動する可能性のある範囲にわたり水位を監視することである。

使用済燃料ピット水位計(可搬型)の検出信号は、使用済燃料ピット水面に浮かべたフロートの使用済燃料ピット水位変化に伴う位置変化を水位変換器で電気信号に変換し、シビアアクシデント監視盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、使用済燃料ピット水位を中央制御室にて表示し、記録装置にて記録する。(「第43図 使用済燃料ピット水位計(可搬型)の概略構成図」参照)

中央制御室

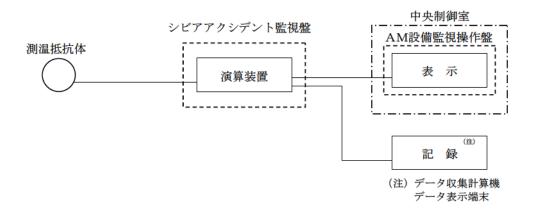


第43図 使用済燃料ピット水位計(可搬型)の概略構成図

1. 使用済燃料ピット温度計 (AM用)

計測目的は、重大事故時等により水温の変動する可能性のある範囲のうち、使用 済燃料ピット内における冷却水の過熱状態の監視である。

使用済燃料ピット温度計(AM用)の検出信号は、測温抵抗体からの抵抗値をシビアアクシデント監視盤内の演算装置にて温度信号へ変換する処理を行った後、使用済燃料ピット温度(AM用)を中央制御室にて表示し、記録装置にて記録する。(「第44図 使用済燃料ピット温度(AM用)の概略構成図」参照)



第44図 使用済燃料ピット温度(AM用)の概略構成図

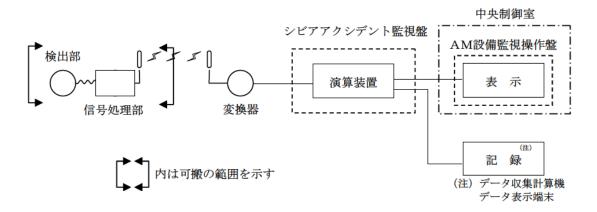
m. 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ

計測目的は、重大事故等において使用済燃料ピット区域の空間線量率について変動する可能性のある範囲を測定し把握することである。

使用済燃料ピット区域の空間線量率を、半導体式検出器及びNa I (T0)シンチレーション検出器を用いてパルス信号として検出する。

検出したパルス信号は、無線により変換器に伝送した後、電気信号に変換し、シビアアクシデント監視盤内の演算装置にて空間線量率信号へ変換する処理を行い、 使用済燃料ピット区域の空間線量率を中央制御室に表示し、記録装置にて記録する。

(「第45図使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの概略構成図」参照)



第45図 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの概略構成図

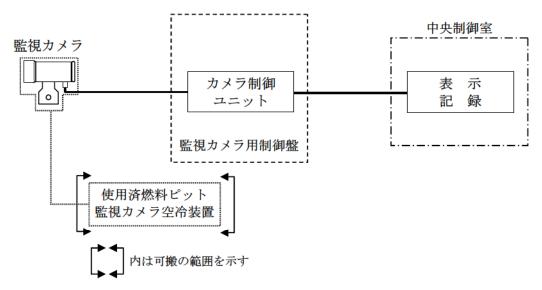
n. 使用済燃料ピット監視カメラ

監視目的は、重大事故等発生時の使用済燃料ピットの状態監視である。

使用済燃料ピット監視カメラの映像信号は、制御ユニットを介し、中央制御室の ノート型監視パソコンに表示する。

なお、当該カメラは、照明が無くとも状態監視が可能な赤外線カメラであり、使 用済燃料ピット水の表面温度も監視可能である。

(「第46図 使用済燃料ピット監視カメラの概略構成図」参照)

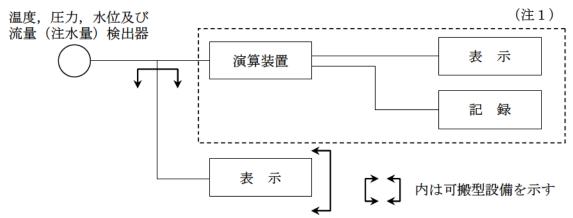


第46図 使用済燃料ピット監視カメラの概略構成図

o. 可搬型計測器

可搬型計測器は,重大事故等対処設備の機能を有しており,重大事故等が発生し, パラメータの計測範囲を超えた場合,又は直流電源が喪失し計測に必要な計器電源 が喪失した場合に,特に重要なパラメータとして,重大事故等に対処するために監 視することが必要な温度,圧力,水位及び流量(注水量)のパラメータについて, 検出器の抵抗値又は電気信号を計測した後,その計測結果を換算表を用いて温度, 圧力,水位及び流量に換算し,監視するとともに,従事者が記録用紙に記録し,保 存する。記録及び保存については,「3.2 計測装置の計測結果の表示,記録及び保 存」に示す。

(第 47 図「可搬型計測器の概略構成図」,第 1 表「可搬型計測器の測定対象パラメータ」,第 48 図「検出器の構造図(可搬型計測器)」及び第 51 図「検出器の取付 箇所を明示した図面」参照。)



(注1) 点線で記載した箇所は、各パラメータの常設設備のうち、可搬型計測器及びその運用で機能を代替する範囲を示している。

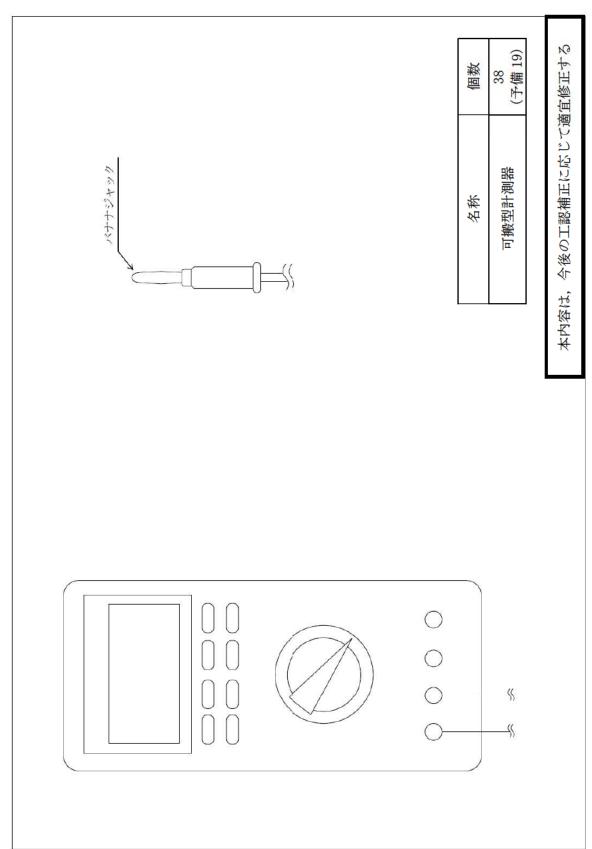
第47図 可搬型計測器の概略構成図

第1表 可搬型計測器の測定対象パラメータ

監視パラメータ

- 1 次冷却材圧力(広域)
- 1次冷却材温度(広域-高温側)
- 1次冷却材温度(広域-低温側)
- 高圧注入流量
- · 低圧注入流量
- ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量
- 加圧器水位
- ·格納容器圧力 (AM用)
- 原子炉格納容器圧力
- 格納容器内温度
- · 蒸気発生器水位 (広域)
- · 蒸気発生器水位 (狭域)
- ・主蒸気ライン圧力
- ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)

- ・格納容器再循環サンプ水位(広域)
- ・格納容器再循環サンプ水位 (狭域)
- ・原子炉下部キャビティ水位
- 原子炉格納容器水位
- 原子炉容器水位
- 補助給水流量
- ・燃料取替用水ピット水位
- ・原子炉補機冷却水サージタンク水位
- ・ほう酸タンク水位
- ・補助給水ピット水位
- ・使用済燃料ピット水位計(AM用)
- ・使用済燃料ピット水位計(可搬型)
- ・使用済燃料ピット温度計(AM用)



第49図 検出器の取付箇所を明示した図面 (T.P.2.8m)

58-5-53

58-5-55

58-5-57